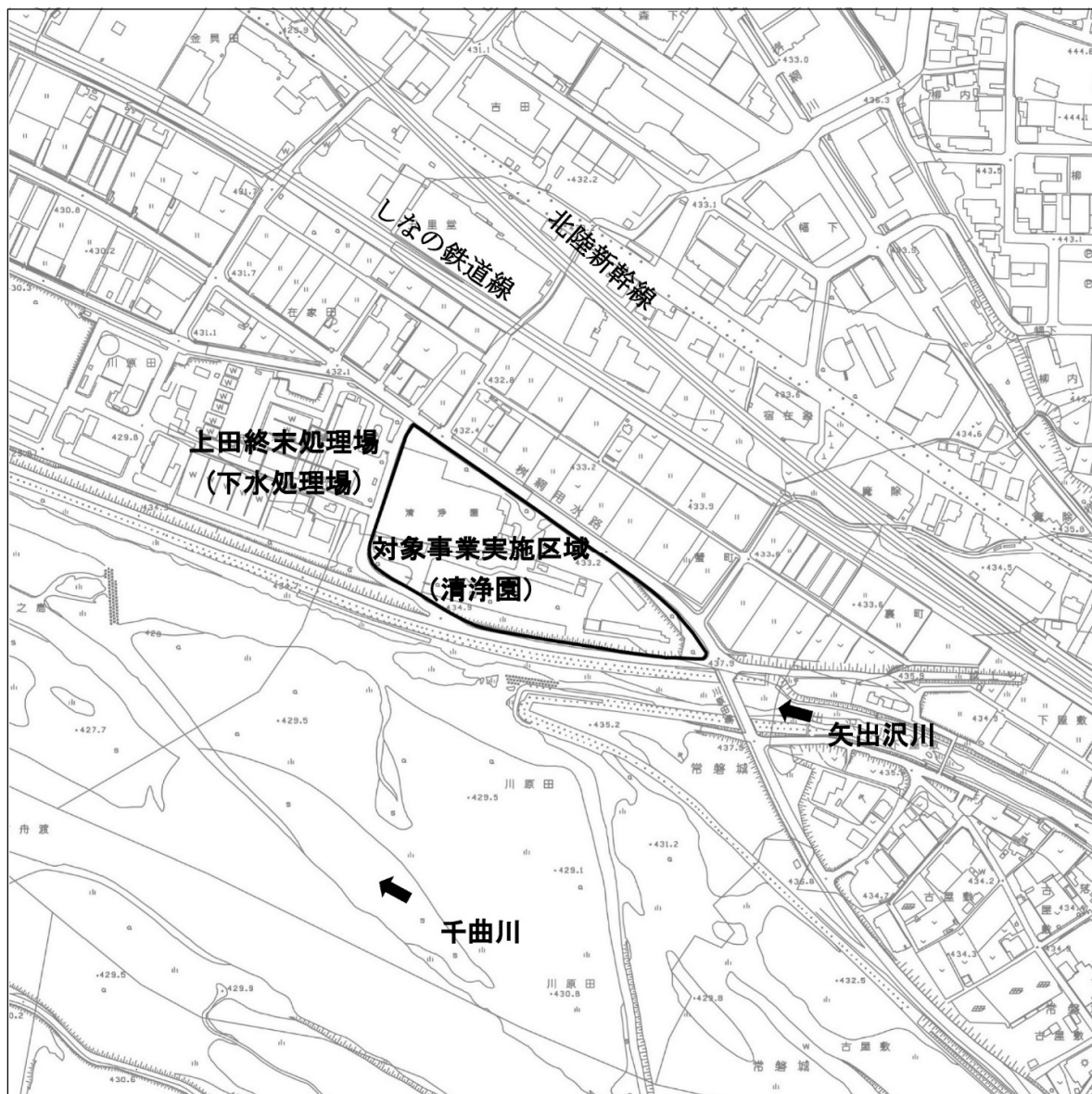


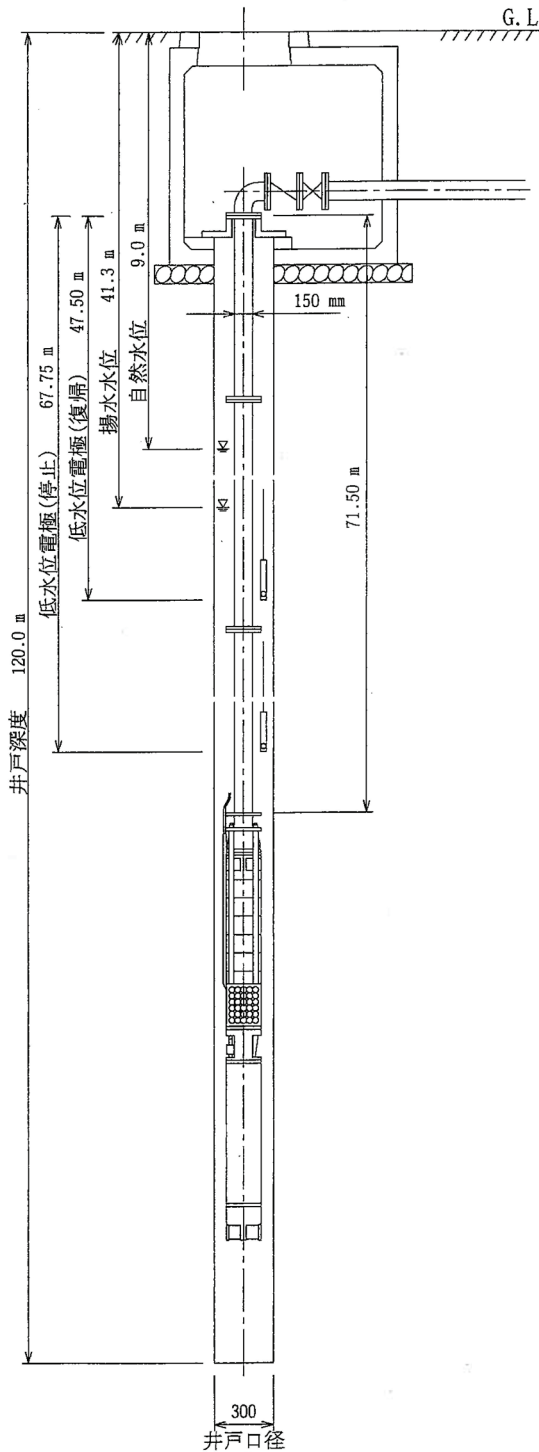
《資源循環型施設整備・運営事業 要求水準書添付資料リスト》

資料番号	資料名
要求水準書添付資料 1	事業実施区域図
要求水準書添付資料 2	地形測量図
要求水準書添付資料 3	ユーティリティ状況
要求水準書添付資料 4	地質地盤状況
要求水準書添付資料 5	地下水質状況
要求水準書添付資料 6	車両大きさ一覧
要求水準書添付資料 7	可燃性粗大ごみ破砕機参考図面
要求水準書添付資料 8	既存施設参考図面
要求水準書添付資料 9	存置工作物図（参考）
要求水準書添付資料 10	周辺道路計画図

**添付資料 1 事業実施区域**



水中モータ・ポンプ設置記録図



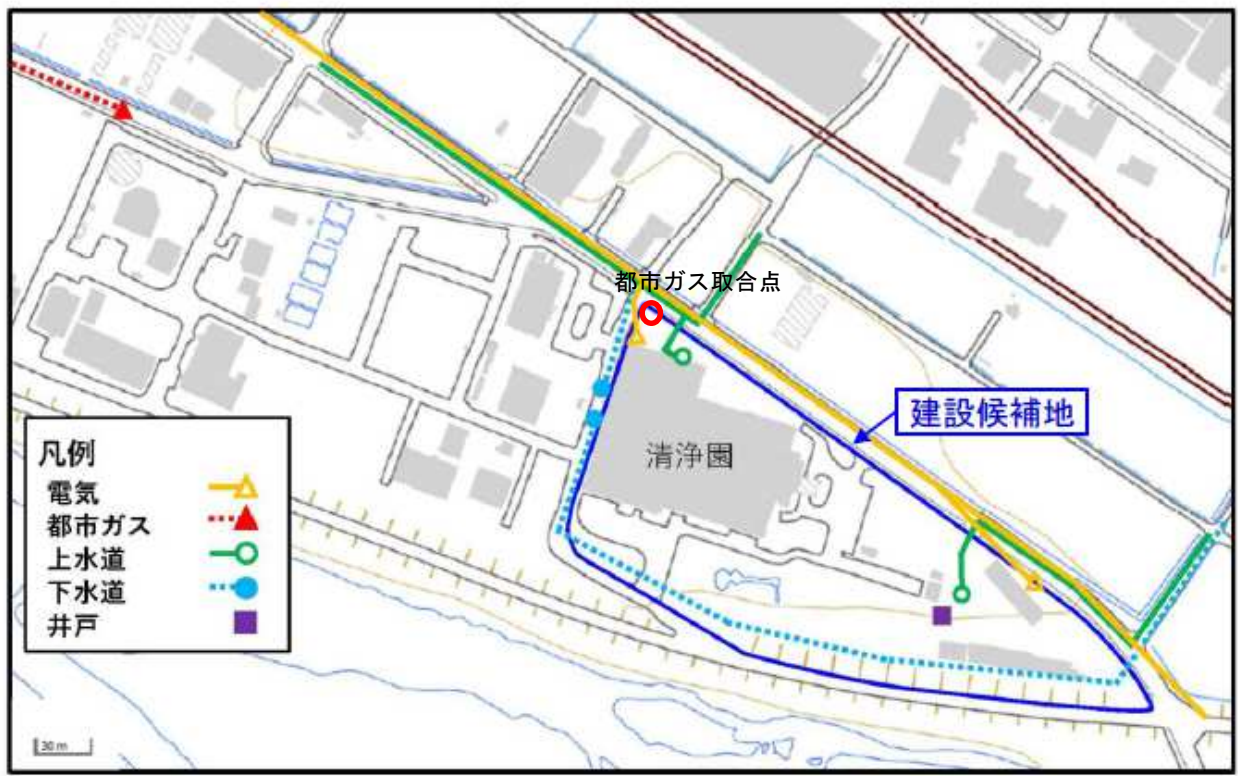
工事名	2号井戸ポンプ揚水管交換修繕	
施工者		
担当者		
据付年月	2019年07月27日	
深井戸		
井戸仕様	深度	120.0 m
	口径	300 mm
	材質	SGP
水中ポンプ		
製作会社	株式会社荏原製作所	
機種型式	125BHS2630B	
標準仕様	揚水量	2.400 m <sup>3</sup> /min
	全揚程	53.0 m
	口径	125 mm
	出力	30.00 kW
	相・電圧	3相 400 V
	段数	2段
機器番号	P15758689	
試運転時	自然水位	9.0 m
	揚水水位	41.3 m
	揚水量	0.500 m <sup>3</sup> /min
揚水管		
口径	150 mm	
長さ	71.50 m	
材質	SGP	
接続方法	JISポンプフランジ	
低水位電極位置	停止	base- 67.75 m
	復帰	base- 47.50 m
備考		
揚水管：71.5m中、5.5m×6本分を新品		

令和7年度 清浄園（資源循環型施設建設地）の地下水水質調査結果

検査項目	単位	第1回 (R7.12.12)	第2回 (R8.1.26)	第3回 (R8.3.4)	平均
水温	℃	19.0	19.0	19.0	19.0
pH	—	7.7 (17℃)	7.7 (15℃)	7.8 (18℃)	7.7 (16.7℃)
濁度	度	2	2	2	2
酸消費量 (pH4.8)	m g(CaCo3)/ L	210	210	210	210
全硬度	m g(CaCo3)/ L	130	130	130	130
カルシウム 硬度	m g(CaCo3)/ L	91	88	90	89.7
電気伝導率	m S/m	62	61	62	61.7
蒸発残留物	mg/L	390	380	380	383.3
塩化物 イオン	mg/L	71	75	71	72.3
鉄	mg/L	1.1	1.1	1.0	1.1
マンガン	mg/L	0.28	0.29	0.31	0.29

※マグネシウム硬度＝全硬度－カルシウム硬度

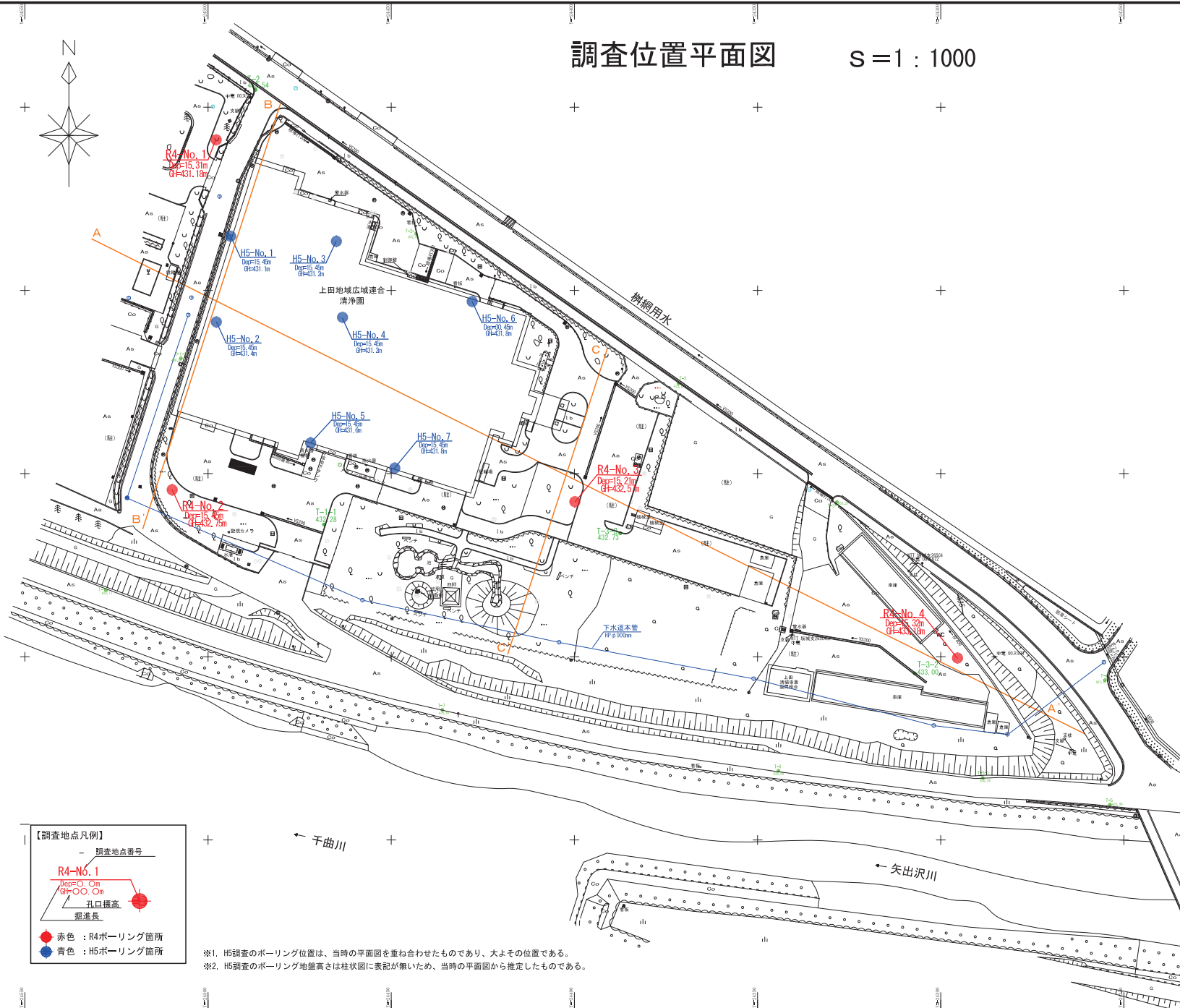
添付資料3 ユーティリティ状況



# 調査位置平面図

S = 1 : 1000

添付資料4  
地質地盤状況



ボーリング孔地盤高

孔番	ボーリング 地盤高	基準点 番号	基準点 地盤高
R4-No.1	431.18m	T-2	432.54m
R4-No.2	432.75m	T-1-1	432.28m
R4-No.3	432.57m	T-3-3	432.73m
R4-No.4	433.18m	T-3-2	433.00m

【調査地点凡例】

— 調査地点番号

R4-N6.1  
Dep=〇.〇m  
G=〇〇.〇m  
孔口標高  
掘進長

● 赤色 : R4ボーリング箇所  
● 青色 : H5ボーリング箇所

※1. H5調査のボーリング位置は、当時の平面図を重ね合わせたものであり、大よその位置である。  
 ※2. H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

令和4年度  
資源循環型施設 地質調査業務委託

番号 1/4 調査位置  
平面図 縮尺 1/1000

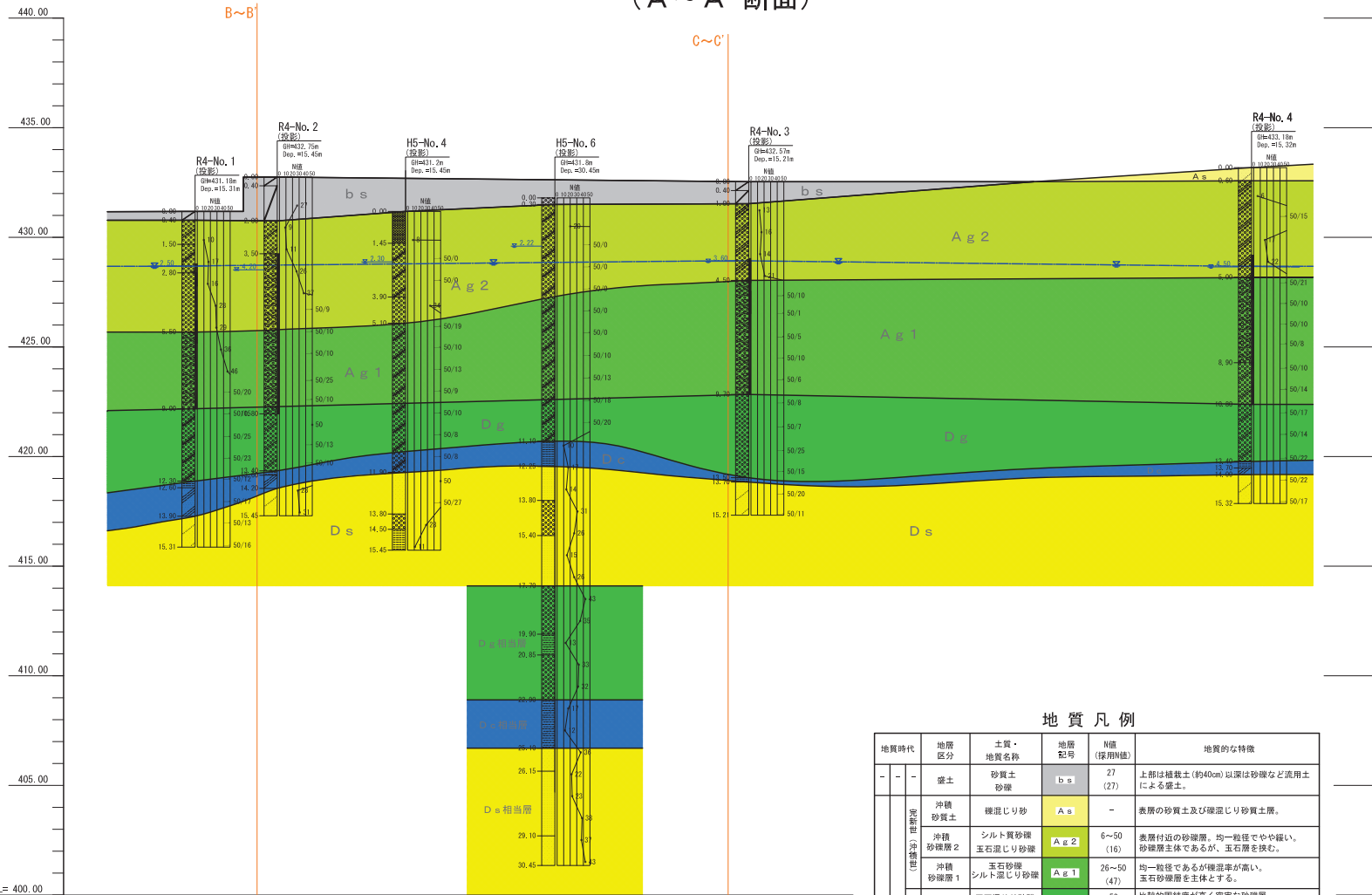
上田市常磐城及び秋和

調査 監査 設計

上田地域広域連合

# 地質想定縦断図 V=1:200 H=1:1000

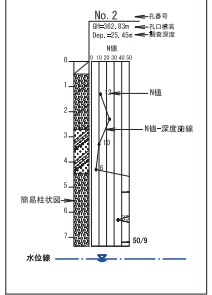
## (A~A'断面)



地質凡例

地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値 (採用N値)	地質的な特徴
新 生 代	更新世 (沖積層)	盛土	bs	27 (27)	上部は植栽土 (約40cm) 以下は砂礫など流用土による盛土。
		沖積砂質土	Ag 2	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。
		沖積砂礫層 2	Ag 2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや細かい。砂礫層主体であるが、玉石層を挟む。
		沖積砂礫層 1	Ag 1	26~50 (47)	均一粒径であるが、浸透率が高い。玉石砂礫層を主体とする。
		洪積砂礫層	Dg	50 (50)	比較的固結度が高く密実な砂礫層。比較的に均質粒径がシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。
		洪積粘土層	Dc	-	10~20cmの固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。
		洪積砂質土層	Ds	28~50 (44)	密実かつ均等粒径な礫混じり砂、砂層一層。
		洪積砂礫相当層	Dg 相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂礫相当層。
		洪積粘土相当層	Dc 相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積粘土相当層。
		洪積砂質土相当層	Ds 相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂質土相当層。

ボーリング柱状図凡例



※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

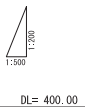
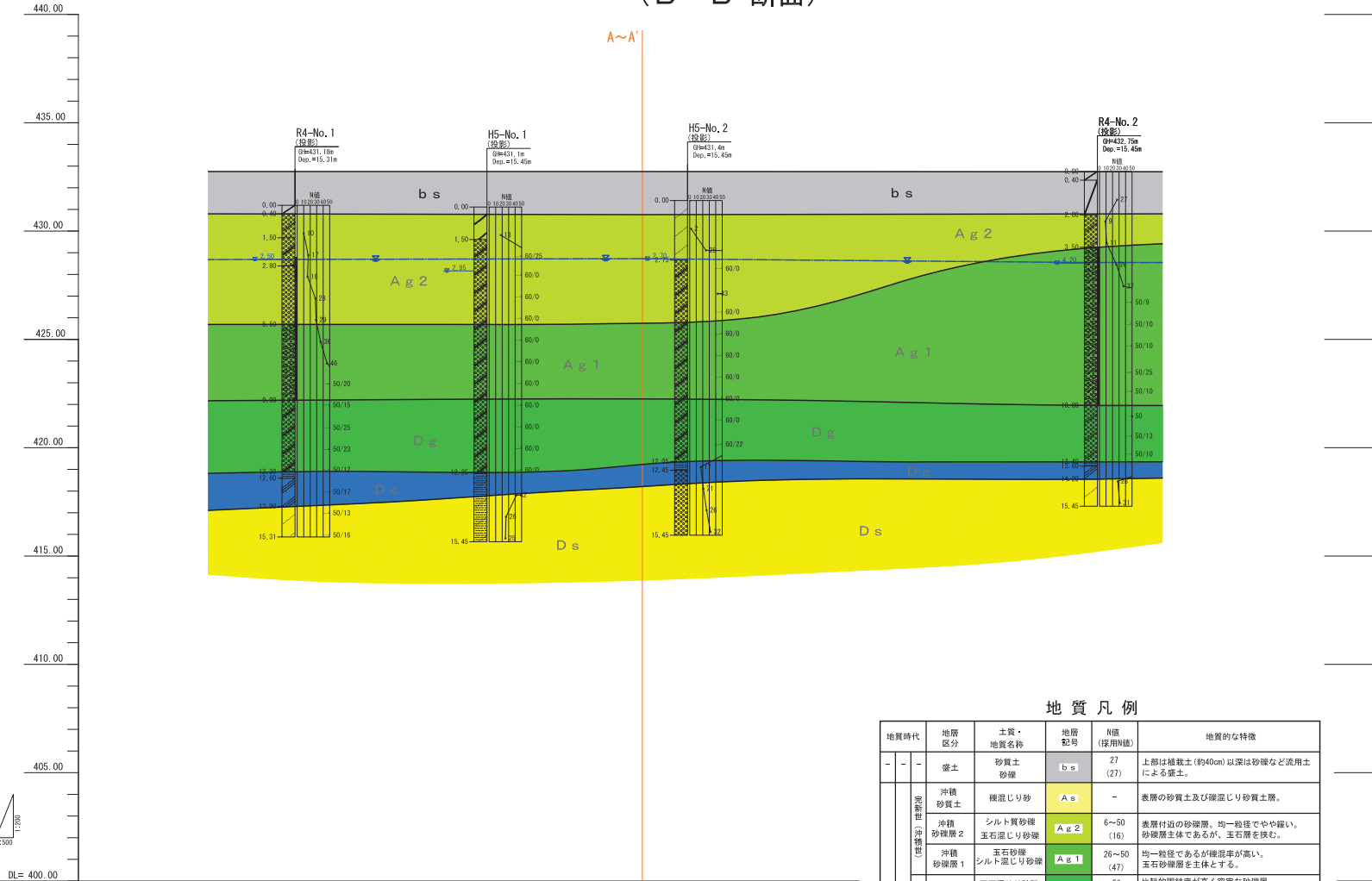
令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託

番号 24 地質想定横断面 縮尺 V=1:200 H=1:1000

上田市常盤城及び秋和

上田地域広域連合

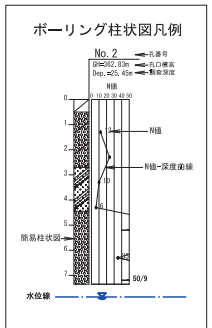
# 地質想定横断面図(1) V=1:200 H=1:500 (B~B'断面)



※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

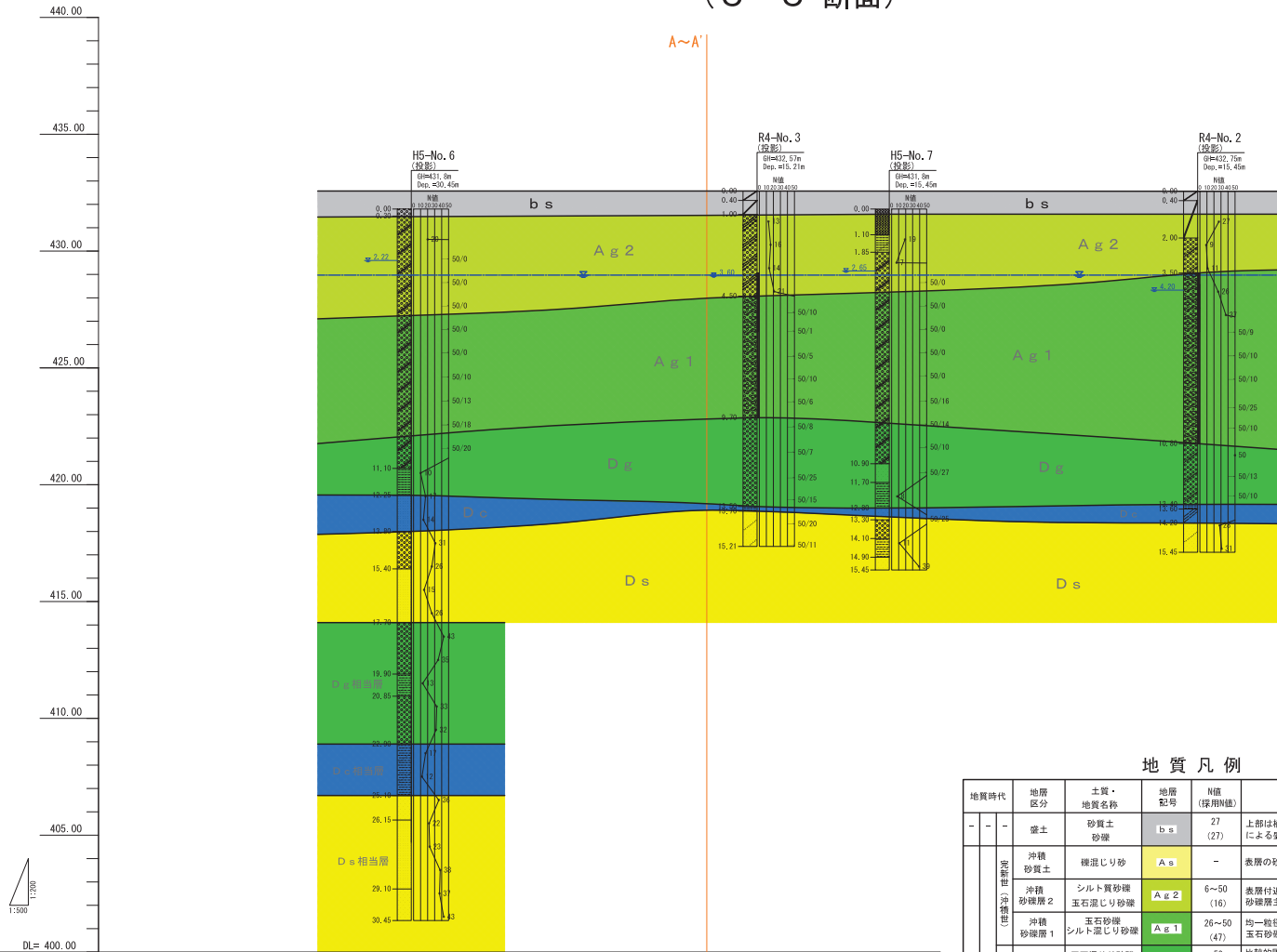
### 地質凡例

地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値 (採用N値)	地質的な特徴	
新 生 代	更新世 (沖積層)	盛土	bs	27 (27)	上部は植栽土 (約40m) 以下は砂礫など流用土による盛土。	
		沖積砂質土	Ag2	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。	
		沖積砂礫層2	Ag2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや細かい。砂礫層主体であるが、玉石層を挟む。	
		沖積砂礫層1	Ag1	26~50 (47)	均一粒径であるが間隙率が高い。玉石砂礫層を主体とする。	
	第四紀 (洪積層)	洪積砂礫層	玉石混じり砂礫 シルト混じり砂礫	Dg	50 (50)	比較的高間隙率が高く密実な砂礫層。比較的均等粒径なシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。
		洪積粘土層	固結シルト シルト質砂	Dc	-	10~20cm次の固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。
		洪積砂質土層	礫混じり砂 砂	Ds	28~50 (44)	密実かつ均等粒径な礫混じり砂、砂層一層。
		洪積砂礫相当地層	砂礫等	Dg 相当地層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂礫相当地層。
		洪積粘土相当地層	粘性土 固結粘性土	Dc 相当地層	-	H5-No. 6において確認された洪積粘土相当地層。
		洪積砂質土相当地層	砂質土 砂等	Ds 相当地層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂質土相当地層。



令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託  
 番号 3/4 地質想定横断面図(1) 縮尺 V=1:200 H=1:500  
 上田市常盤城及び秋和  
 上田地域広域連合

# 地質想定横断図(2) V=1:200 H=1:500 (C~C'断面)

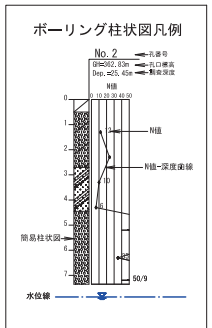


DL=400.00  
1:500

※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

### 地質凡例

地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値(採用N値)	地質的な特徴	
新 生 代	第四紀	沖積層	盛土	bs	27 (27)	上部は植栽土(約40cm)以下は砂礫など流用土による盛土。
			沖積砂質土	Ag2	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。
			沖積砂礫層2	Ag2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや細かい。砂礫層主体であるが、玉石層を挟む。
			沖積砂礫層1	Ag1	26~50 (47)	均一粒径であるが礫混率が低い。玉石砂礫層を主体とする。
			洪積砂礫層	Dg	50 (50)	比較的高粒径で高く密な砂礫層。比較的に均等粒径でシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。
			洪積粘土層	Dc	-	10~20cmの固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。
			洪積砂質土層	Ds	28~50 (44)	密実かつ均等粒径な礫混じり砂、砂層一層。
			洪積砂礫相当層	Dg相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂礫相当層。
			洪積粘土相当層	Dc相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積粘土相当層。
			洪積砂質土相当層	Ds相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂質土相当層。



令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託  
 番号 4/4 地質想定横断図(2) 縮尺 V=1:200 H=1:500  
 上田市常盤城及びび和  
 上田地域広域連合

# ボーリング柱状図

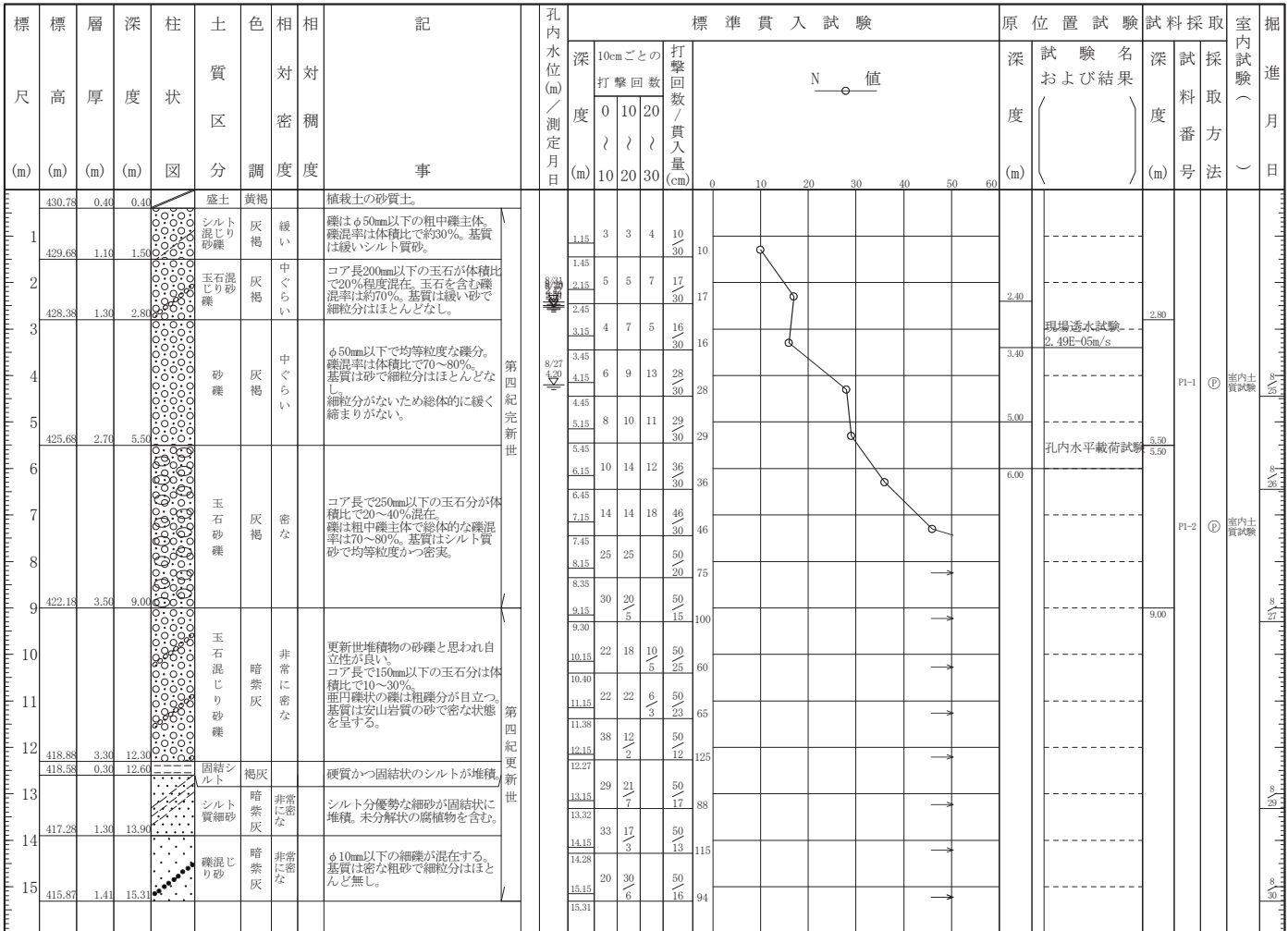
調査名 資源循環型施設 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	R4-No.1		調査位置	上田市常磐城及び秋和		北緯	36° 24' 31.75"			
発注機関	上田地域広域連合			調査期間	令和 4年 8月 24日 ~ 4年 8月 30日		東経	138° 13' 36.77"		
調査業者名				主任技師	現場代理人	コ鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	431.18m	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	使用機種			
総掘進長	15.31m	度	上 90°	向	270° 西 90° 東 180° 南	鉛直 90°	試錐機	東邦地下工機製 D0-C	ハンマー落下用具	半自動落下装置
							エンジン	ヤンマー製 TF70V-E	ポンプ	丸山製 GS305E-H











# ボーリング柱状図

調査名 清浄園汚水処理場建設に伴うボーリング調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	上田市大字常盤城			北緯	
発注機関		調査期間	平成 5 年 8 月 2 日 ~ 5 年 8 月 5 日			東経	
調査業者名		主任技師	現代場人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高		角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0°
総掘進長	15.45m	使用機種	試錐機	YBM-2Z	ハンマー 落下用具	モンケン	
		エンジン		NFD90	ポンプ	V5-P	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験			原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日		
									深さ (m)	10cm 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)							N 値	
1				黒褐色シルty 砂質土	暗褐色			含水中 ガラス片等を含む埋土である 玉石・転石を含む	1.15	1	15	2							
2	2.75	2.75								2.15	2	8	15	25					
3				玉石混じり砂質土	淡黄褐色			粒径0.45 棒状コア(玉石)硬い。 緑灰色の粘性土を含む。 部分的に玉石・転石の連続となる。 硬質の礫を如く含む。 孔の崩れ大	2.45	貫入不能	60	0							
4									3.15	貫入不能	60	0							
5									4.15	8	15	20	43						
6									4.45				60						
7									5.15	貫入不能	60	0							
8									6.15	貫入不能	60	0							
9									7.15	貫入不能	60	0							
10									8.15	貫入不能	60	0							
11									9.15	貫入不能	60	0							
12	9.30	12.05			砂混じりシルty	暗褐色			含水中へ大。細砂~微細砂を1~2m程 連続する。 灰である。	10.15	貫入不能	60	0						
13	0.40	12.45		砂質土	暗褐色			含水中 中砂を主体とする砂を多く含む。礫は細 礫~小礫程度である。 部分的に細砂~微細砂を主体とするシルty 質砂を挟む。	11.15	8	42	10	2	60	22				
14									12.15	5	6	6	17	30	17				
15									12.45				60						
									13.15	5	7	9	21	30	21				
									13.45				60						
									14.15	8	9	9	26	30	26				
									14.45				60						
									15.15	9	13	10	32	30	32				
									15.45				60						

# ボーリング柱状図

調査名 清浄園汚水処理場建設に伴うボーリング調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	上田市大字常盤城			北緯	
発注機関		調査期間	平成 5 年 9 月 24 日 ~ 5 年 10 月 4 日			東経	
調査業者名		主任技師	現代場	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高		角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	15.45m	度			使用機種	試錐機	YBM-2Z
					エンジン	NFD90	ハンマー落下用具 ポンプ
							モンケン V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	深	度	試料採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日	
									深	10cm 打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値									
1	1.10	1.10		玉石混じり砂礫	褐	暗灰	褐	含水小 表土	1.15	6	5	12	23	30	23						
2	0.55	1.65		砂質土	褐	暗灰	褐	含水中、シルト混在する。中密程度の中砂	2.15	貫入不能		60	0								
3		1.85		玉石混じり砂礫	褐	暗灰	褐	含水中。透水性の高い中密程度の玉石・転石状にする階段粒度の礫。	3.15	貫入不能		60	0								
4	1.20	3.05		砂礫	褐	暗灰	褐	含水中。細礫～中礫並円礫状にする粒度のよい砂礫であり、中密～密	4.15	11	12	16	39	39							
5		4.25		砂礫	褐	暗灰	褐		4.45	貫入不能		60	0								
6		4.70		玉石混じり砂礫	褐	暗灰	褐	含水中～大透水性の高い粗礫～玉石を挟む中密～密な階段粒度の砂礫。	5.15	貫入不能		60	0								
7		5.15		砂礫	褐	暗灰	褐		6.15	貫入不能		60	0								
8		5.60		砂礫	褐	暗灰	褐		6.15	貫入不能		60	0								
9	4.40	10.00		砂礫	褐	暗灰	褐	含水中 透水性のやや低い中～粗礫を主体とする砂礫であり密に締まる。	7.15	貫入不能		60	0								
10		10.40		砂礫	褐	暗灰	褐		8.15	21	39	8	60	16							
11		10.80		砂礫	褐	暗灰	褐		8.31	貫入不能		60	0								
12	3.00	13.80		砂質土	黒	黒	灰	含水小 密に締まった中砂を主体とし、時々で硬い粘性土が混在する。	9.15	貫入不能		60	0								
13		14.80		砂礫	黒	黒	灰	含水中～大、粗砂～粗礫を主体とし、比較的粒度のよい中密～密な砂礫であり若干の透水あり	9.24	貫入不能		60	0								
14	1.80	16.60		砂礫	黒	黒	灰		10.15	36	24	4	60	14							
15		18.40		砂礫	黒	黒	灰		10.29	貫入不能		60	0								
		18.80		砂礫	黒	黒	灰		11.15	21	39	8	60	18							
		19.20		砂礫	黒	黒	灰		11.33	貫入不能		60	0								
		19.55		砂礫	黒	黒	灰		12.15	26	34	7	60	17							
		20.00		砂礫	黒	黒	灰		12.32	貫入不能		60	0								
		20.40		砂礫	黒	黒	灰		13.15	15	19	20	5	60	25						
		20.80		砂礫	黒	黒	灰		13.40	貫入不能		60	0								
		21.20		砂礫	黒	黒	灰		14.15	12	13	18	43	30	43						
		21.60		砂礫	黒	黒	灰		14.45	貫入不能		60	0								
		22.00		砂礫	黒	黒	灰		15.15	14	15	23	52	30							
		22.45		砂礫	黒	黒	灰		15.45	貫入不能		60	0								



# ボーリング柱状図

調査名 清浄圏汚水処理場建設に伴うボーリング調査業務

ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 5		調査位置	上田市大字常盤城			北緯	
発注機関				調査期間	平成 5年 7月29日 ~ 5年 8月 5日		東経	
調査業者名				主任技師	現場人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 配	水平 0°	使用機種	エンジン
総掘進長	15.45m	度					試錐機	YBM-2Z
							ハンマー 落下用具	モンケン
							ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進 月 日	
									深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
		0.15		砂	黄褐色			含水中、シルトを含む。	1.15	1	1	3							
1	0.90	1.05		粘土質シルト	黄褐色			含水中、上部(0.15m~0.35m)は、黄褐色の粘土質土であるが下部は赤褐色の硬い、やや含水の高い粘性土である。全体的に水分が多い。若干玉石が点在する。粗石(3.5cm程度)も見られる。	1.52	1	1	2							
2		1.75		粘土質シルト	黄褐色			含水中~小。ガラス片を多量に含み、空隙の大きい盛土で透水性も全透水である。	2.15	1	1	2							
3		2.80		砂	黄褐色			含水中~大。含水が高く細かい砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大。全透水。	2.80	9	17	39							
4		1.55		砂	黄褐色				3.15	9	18	39							
5				暗灰色	黄褐色				3.45	貫入不能		50							
6				暗灰色	黄褐色				4.15	貫入不能		50							
7				暗灰色	黄褐色				5.15	24	28	50							
8				暗灰色	黄褐色				5.35			50							
9				暗灰色	黄褐色				6.15	34	18	50							
10				暗灰色	黄褐色				6.30			50							
11				暗灰色	黄褐色				7.15	貫入不能		50							
12				暗灰色	黄褐色				7.15			50							
13				暗灰色	黄褐色				8.15	50		50							
14				暗灰色	黄褐色				8.22			50							
15				暗灰色	黄褐色				9.15	16	26	8	50						
				暗灰色	黄褐色				9.45			50							
				暗灰色	黄褐色				10.15	39	11	8	50						
				暗灰色	黄褐色				10.31			50							
				暗灰色	黄褐色				11.15	29	17	4	50						
				暗灰色	黄褐色				11.43			50							
				暗灰色	黄褐色				12.15	5	4	4	13						
				暗灰色	黄褐色				12.45			30							
				暗灰色	黄褐色				13.15	3	3	4	10						
				暗灰色	黄褐色				13.45			30							
				暗灰色	黄褐色				14.15	7	12	11	30						
				暗灰色	黄褐色				14.45			30							
				暗灰色	黄褐色				15.15	9	9	10	28						
				暗灰色	黄褐色				15.45			30							



# ボーリング柱状図

調査名 清浄圏汚水処理場建設に伴うボーリング調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

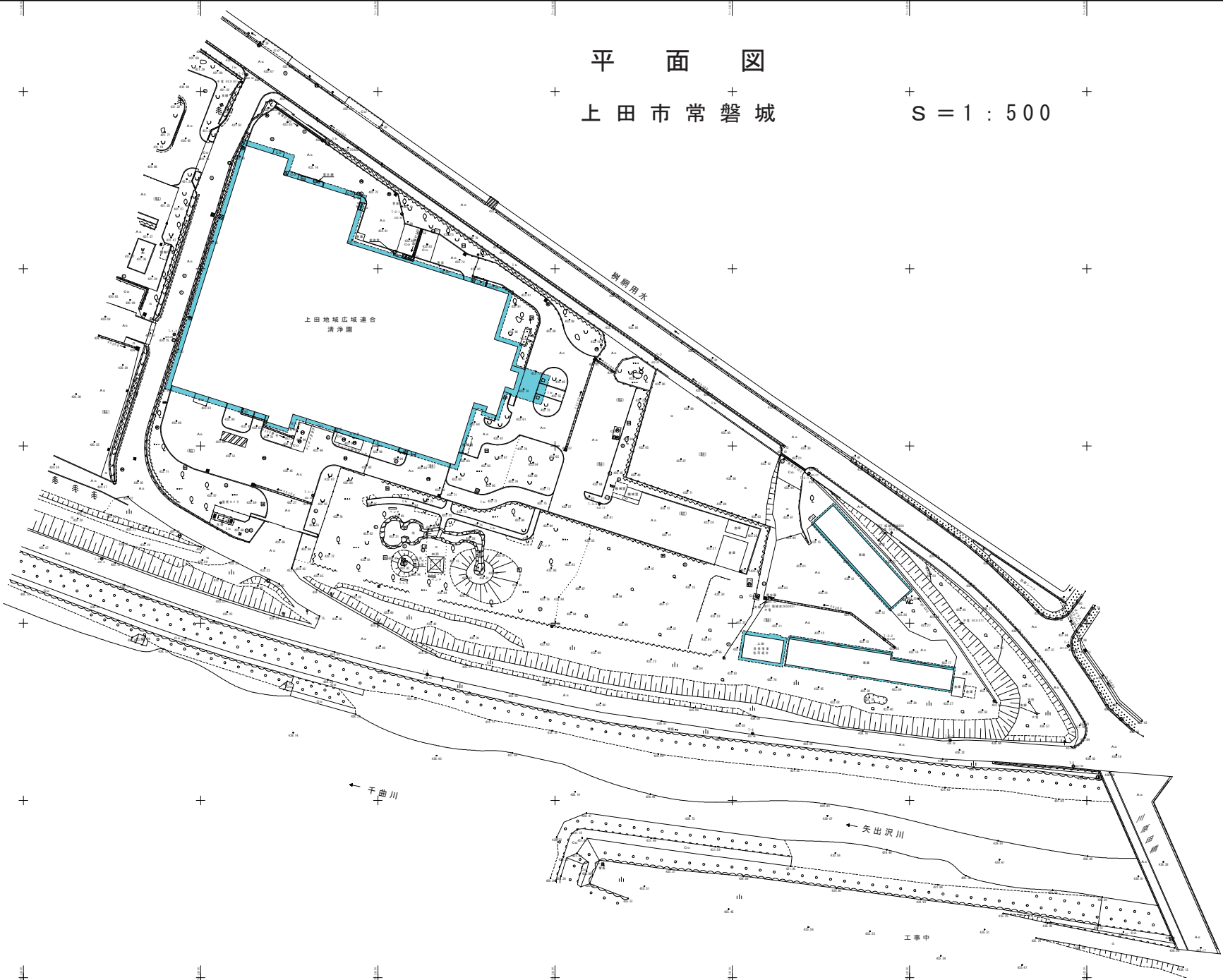
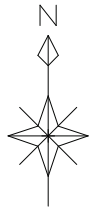
ボーリング名	No. 7	調査位置	上田市大字常盤城			北緯	
発注機関		調査期間	平成 5 年 9 月 1 4 日 ~ 5 年 9 月 2 4 日			東経	
調査業者名		主任技師	現代場人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高		角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	15.45m	度	90° 下	向		使用機種	試錐機 YBM-2Z エンジン NFD90
						ハンマー 落下用具	モンケン
						ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験			原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 方法	室内試験 ( )	掘進 月 日	
									孔内水位 (m) / 測定月日	深 度 (m)	打撃回数 10cm ごと の打撃回数 / 貫入量 (cm)							N 値 -- --
0.30	0.30	0.30	○	シルト	暗褐色			含水中 シルトの混在層	1.15	6	5	8	19					
0.80	1.10	1.10	○	シルト	暗褐色			含水中〜大 シルトを優勢とする層との混在層。	2.15	2	3	2	7					
0.75	1.85	1.85	○	シルト	暗褐色				2.45	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				3.15	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				4.15	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				5.15	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				6.15	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				7.15	購入不能			50					
			○	シルト	暗褐色				8.15	29	21	9	50					
			○	シルト	暗褐色				9.15	36	14	4	50					
			○	シルト	暗褐色				10.15	50			50					
			○	シルト	暗褐色				11.15	21	20	9	50					
			○	シルト	暗褐色				12.15	2	3	3	8					
			○	シルト	暗褐色				13.15	19	23	8	5	50				
			○	シルト	暗褐色				14.15	4	4	3	11					
			○	シルト	暗褐色				15.45	9	11	19	39					
			○	シルト	暗褐色				15.75				39					

平面図

上田市常磐城

S = 1 : 500



- 凡例
- ⊙ 仕切井
  - ⊕ 止水栓
  - ⊖ 不凍栓
  - ⊗ 散水栓
  - ▨ 鋼板
  - lb 礎石
  - 屋根

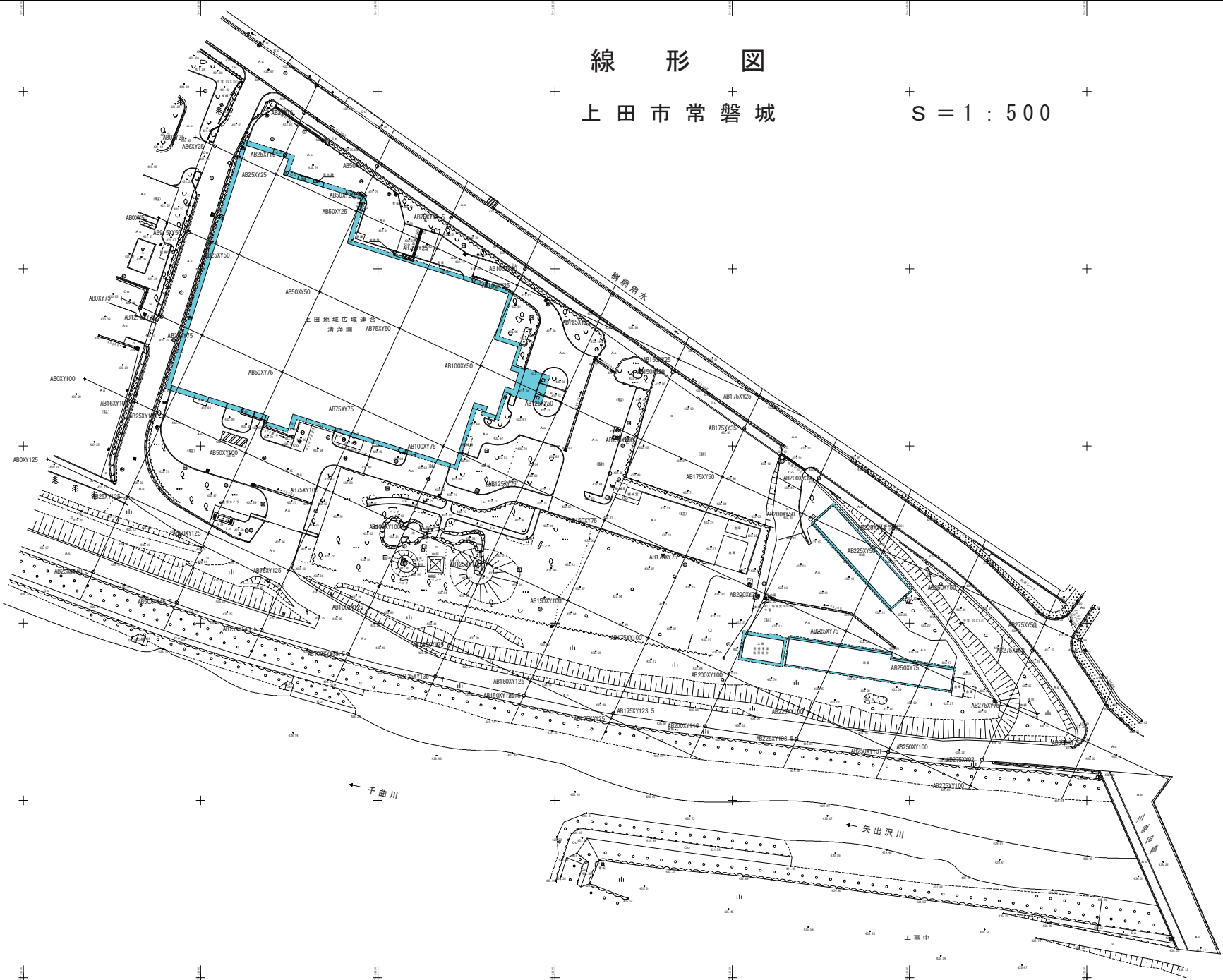
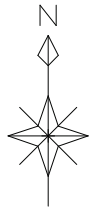
令和2年度	群馬県建設部建設課(保土圏農業委員会)
図号	15 平面図 縮尺 1/500
上田市常磐城及び秋和	
図名	上田地域広域連合
調査	管理
設計	監査
監査	技術
承認	技術
承認	技術
承認	技術

工事中

# 線形図

上田市常磐城

S = 1 : 500



- 凡例
- ⊕ 仕切井
  - ⊙ 止水栓
  - ⊖ 不凍栓
  - ⊕ 散水栓
  - ▨ 鋼板
  - 1b 1/2φ100
  - 屋根

令和2年度		群馬県建設技術院 図形図 縮尺 1/500	
上田市常磐城及び秋和			
図	上	地	域
上田地域広域連合			
調査	管理	設計	監理
会社	会社	会社	会社
設計	設計	設計	設計
会社	会社	会社	会社
設計	設計	設計	設計
会社	会社	会社	会社

工事中

# 横断図

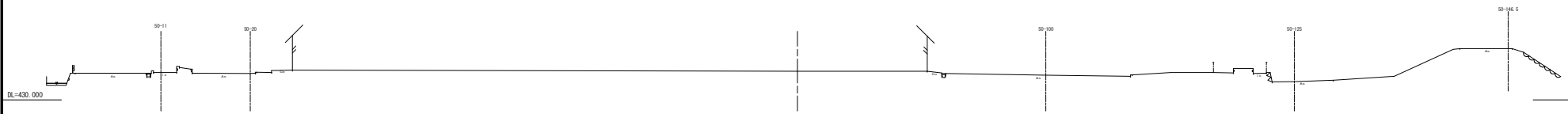
AB75XY75

9H=422.900  
FH=



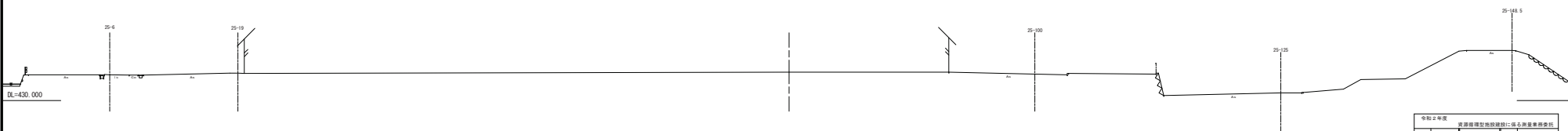
AB50XY75

9H=432.900  
FH=



AB25XY75

9H=422.900  
FH=

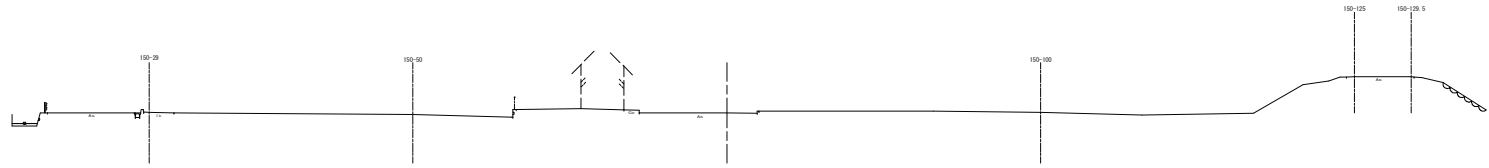


令和2年度		群馬県建設技術センター 保土圏事業課委託	
図号	5-15	横断図	縮尺 1/200
上田市常盤城及び秋和			
日	冊	冊	冊
上田地域広域連合			
調査	管理	監理	監理
設計	設計	設計	設計
監理	監理	監理	監理
設計	設計	設計	設計

# 横断図

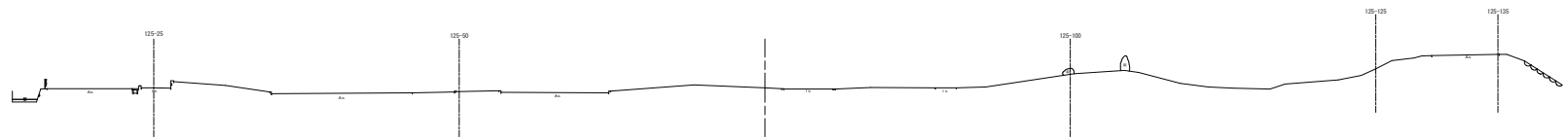
AB150XY75

BM:432.824  
FH:



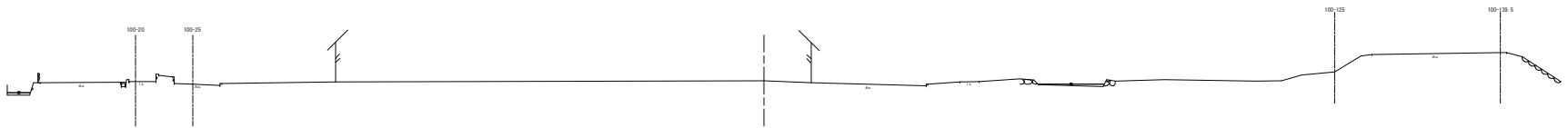
AB125XY75

BM:432.860  
FH:



AB100XY75

BM:432.900  
FH:

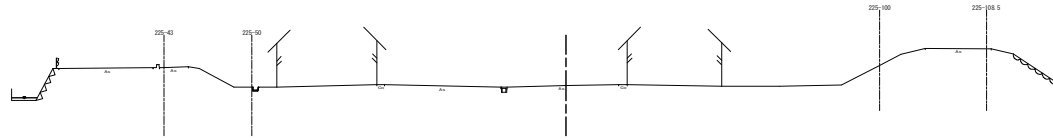


令和2年度		普通国道路建設費補助金(保土崩壊対策費)	
図号	15	横断図	縮尺 1/200
上田市常盤城及び秋和			
設計	監理	測量	調査
設計	監理	測量	調査
設計	監理	測量	調査
設計	監理	測量	調査
設計	監理	測量	調査

# 横断図

AB225XY75

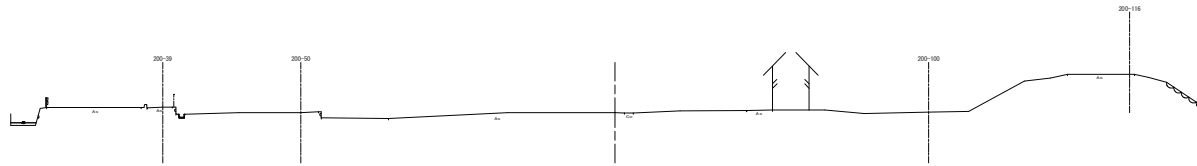
0H=433.085  
FH=



DL=430.000

AB200XY75

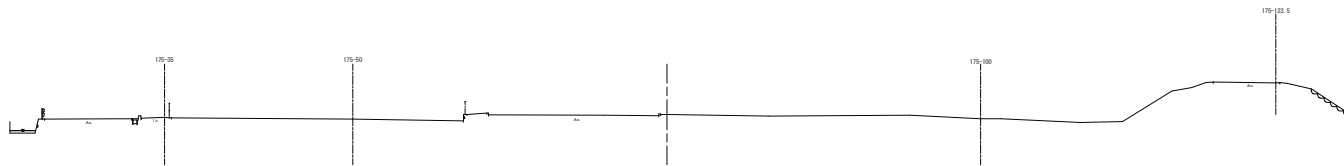
0H=432.919  
FH=



DL=430.000

AB175XY75

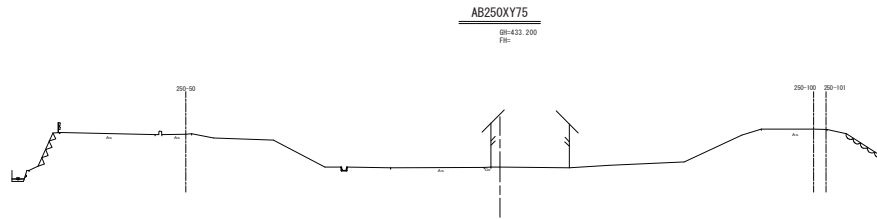
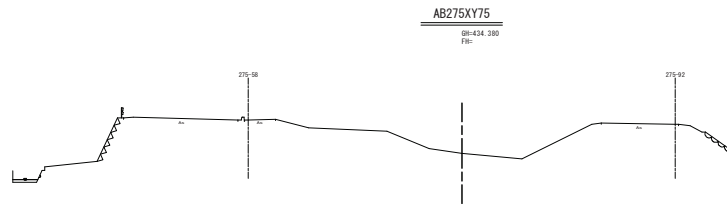
0H=433.310  
FH=



DL=430.000

令和2年度		群馬県建設部		保土圏整備課	
図号	15	横断図	縮尺	1/200	
上田市常盤城及び秋和					
日	月	年	時	分	秒
上田地域広域連合					
調査	管理		管理		
設計	設計		設計		
監理	監理		監理		
承認	承認		承認		
会社	会社		会社		

# 横断図



令和2年度			
普通道建設費補助金(保土崩壊費補助金)			
図号	15	横断図	縮尺 1/200
上田市常盤城及び秋和			
日	冊	頁	枚
上田地域広域連合			
調査	管理	監査	
設計	設計	技術	
監査	監査	技術	
設計	設計	技術	

横断面

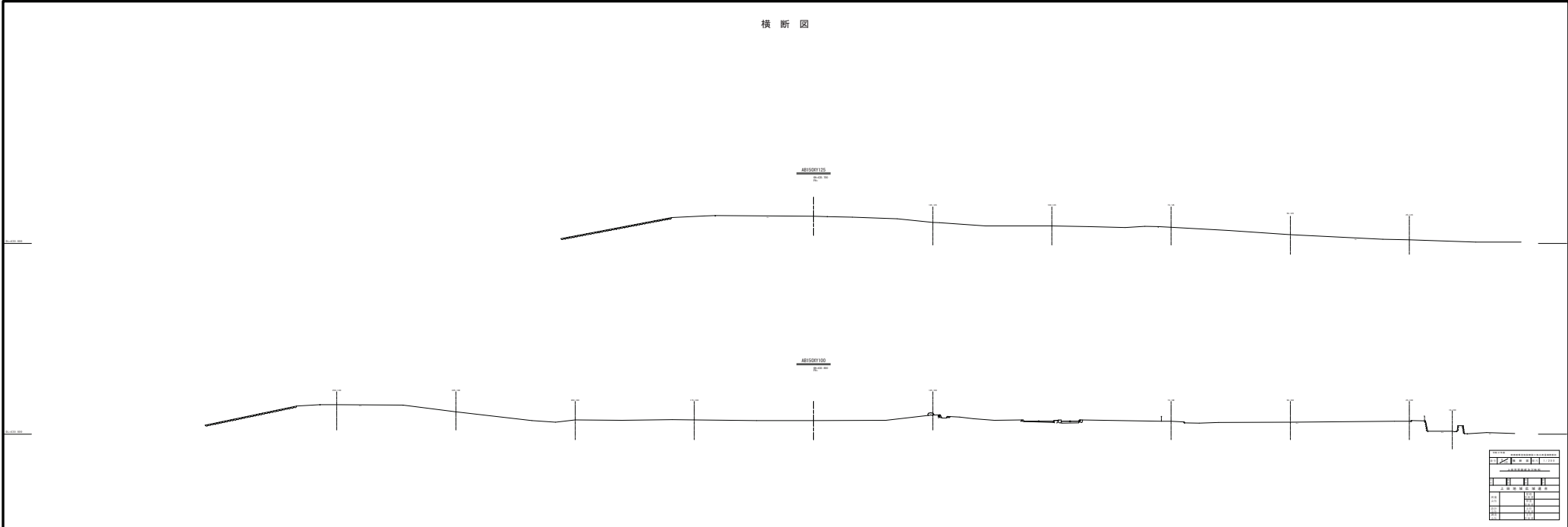
断面

断面

断面

比例尺	1:100
图例	■ 填方 ■ 挖方
设计	设计
审核	审核
日期	日期

横断図

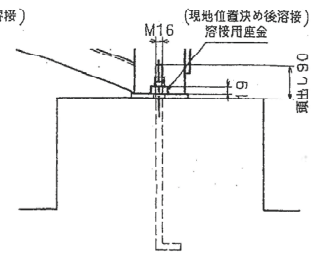
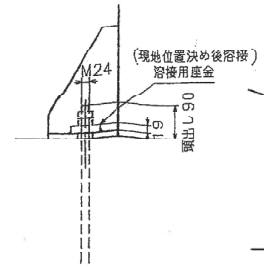
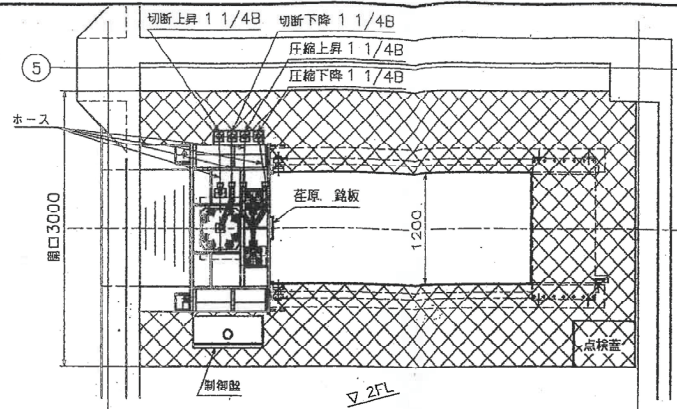


## 添付資料 6 車両大きさ一覧

現状の車両大きさ一覧を示します。(参考)

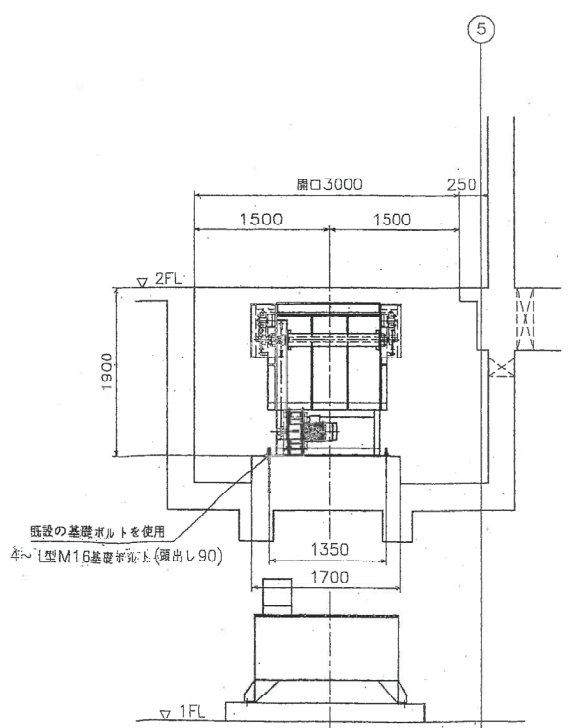
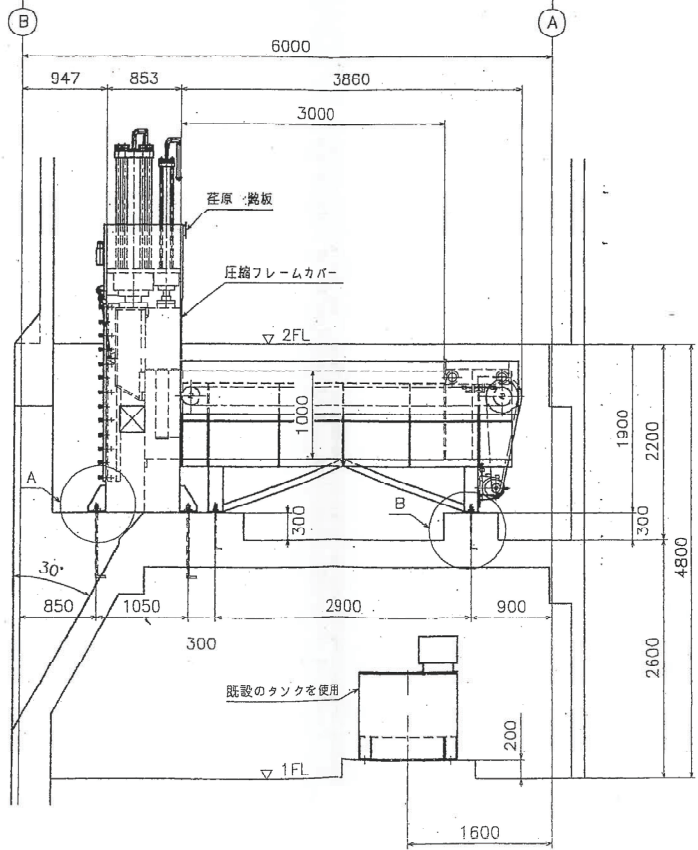
No	種類	形状	最大積載量 (kg)	車両重量 (kg)	車両総重量 (kg)	長さ×幅×高さ	メーカー	型式
1	収集車	塵芥車	6,100	7,480	13,690	729cm×227cm×281cm	日野	2KG-FJ2ABA
2	灰出し	脱着装置付コンテナ専用車	9,900	11,900	21,910	920cm×249cm×325cm	日野	BDG-FS1ERYA
3	灰出し	コンテナフルトレーラー	14,900	4,940	19,840	855cm×249cm×180cm	トレクス	FFB12402改
4	灰出し	キャブオーバー	11,800	13,070	24,980	1,199cm×249cm×328cm	日野	BDG-FS1EWYA

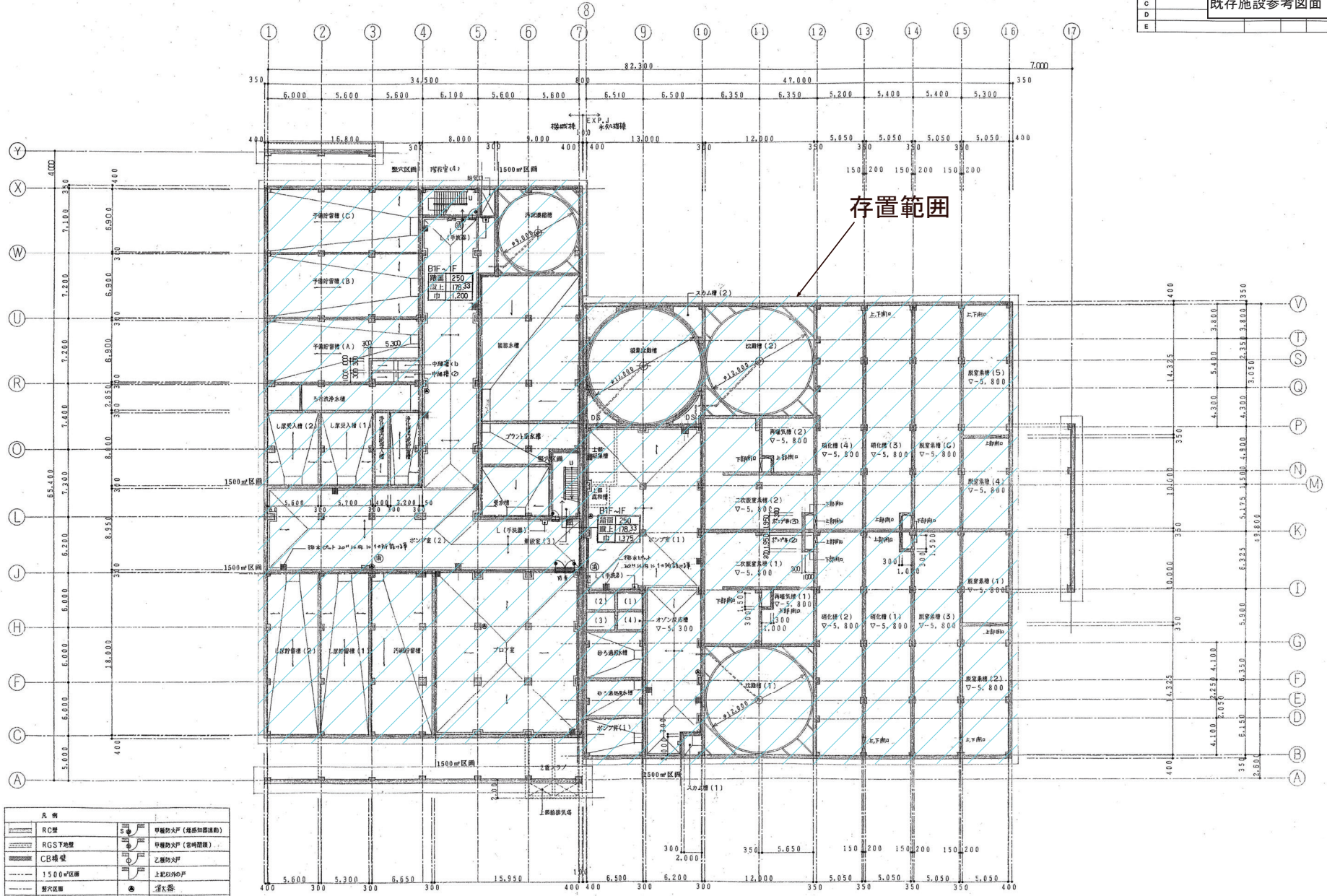
添付資料7  
可燃性粗大ごみ破砕機参考図面



A部拡大 S=1/10  
(破砕機)

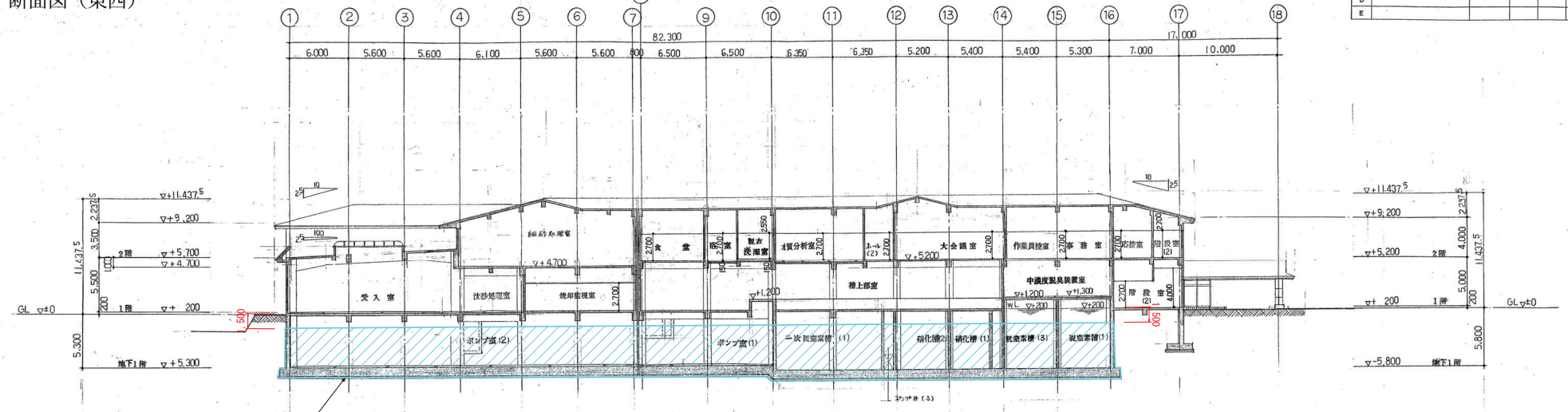
B部拡大 S=1/10  
(チェーンポンプ用アンカ)





記号	訂正	年月日	訂正者	担当者	承認
A					
B					
C					
D					
E					

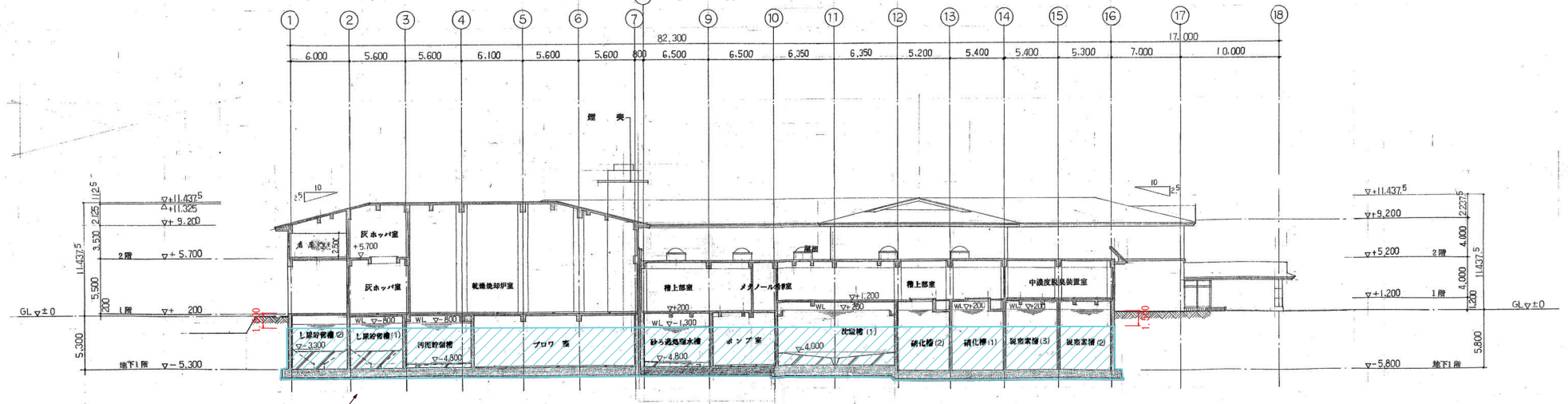
断面図 (東西)



①-⑮間, H-H 断面図 1/200

断面図 (J-K間)

存置範囲  
(地下の機器類等については、別途工事で撤去する。)



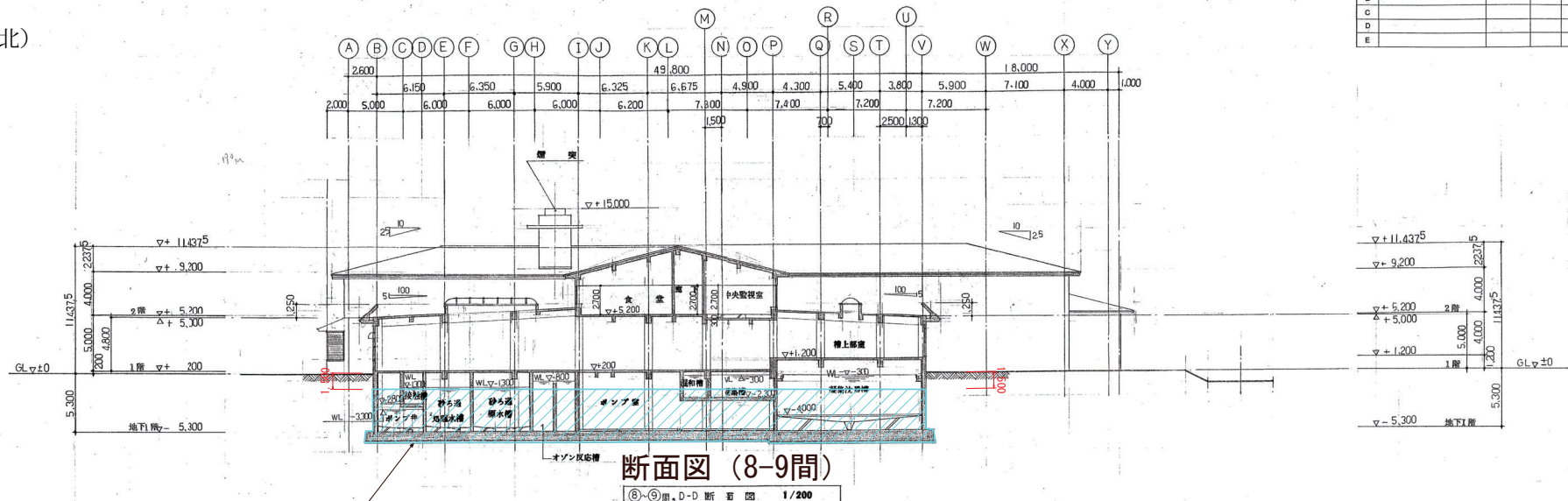
①-⑮間, G-G 断面図 1/200

断面図 (D-E間)

存置範囲  
(地下の機器類等については、別途工事で撤去する。)

断面図 (南北)

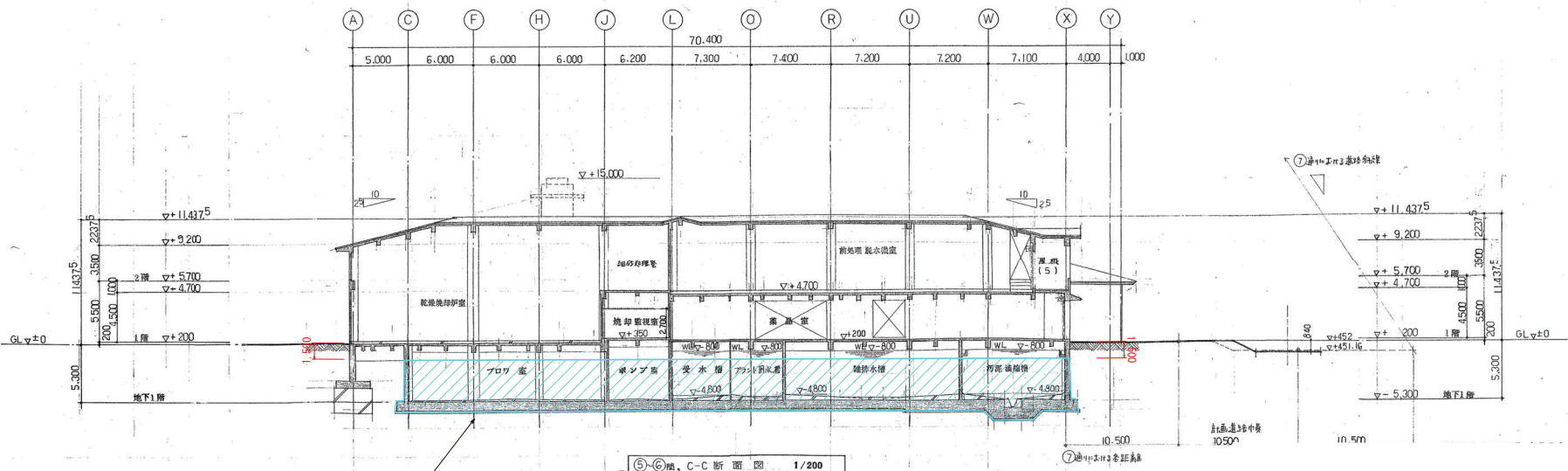
記号	訂	正	年月日	訂正者	担当者	承認者
A						
B						
C						
D						
E						



断面図 (8-9間)

⑧-⑨間, D-D 断面図 1/200

存置範囲 (地下の機器類等については、別途工事で撤去する。)



断面図 (5-6間)

⑤-⑥間, C-C 断面図 1/200

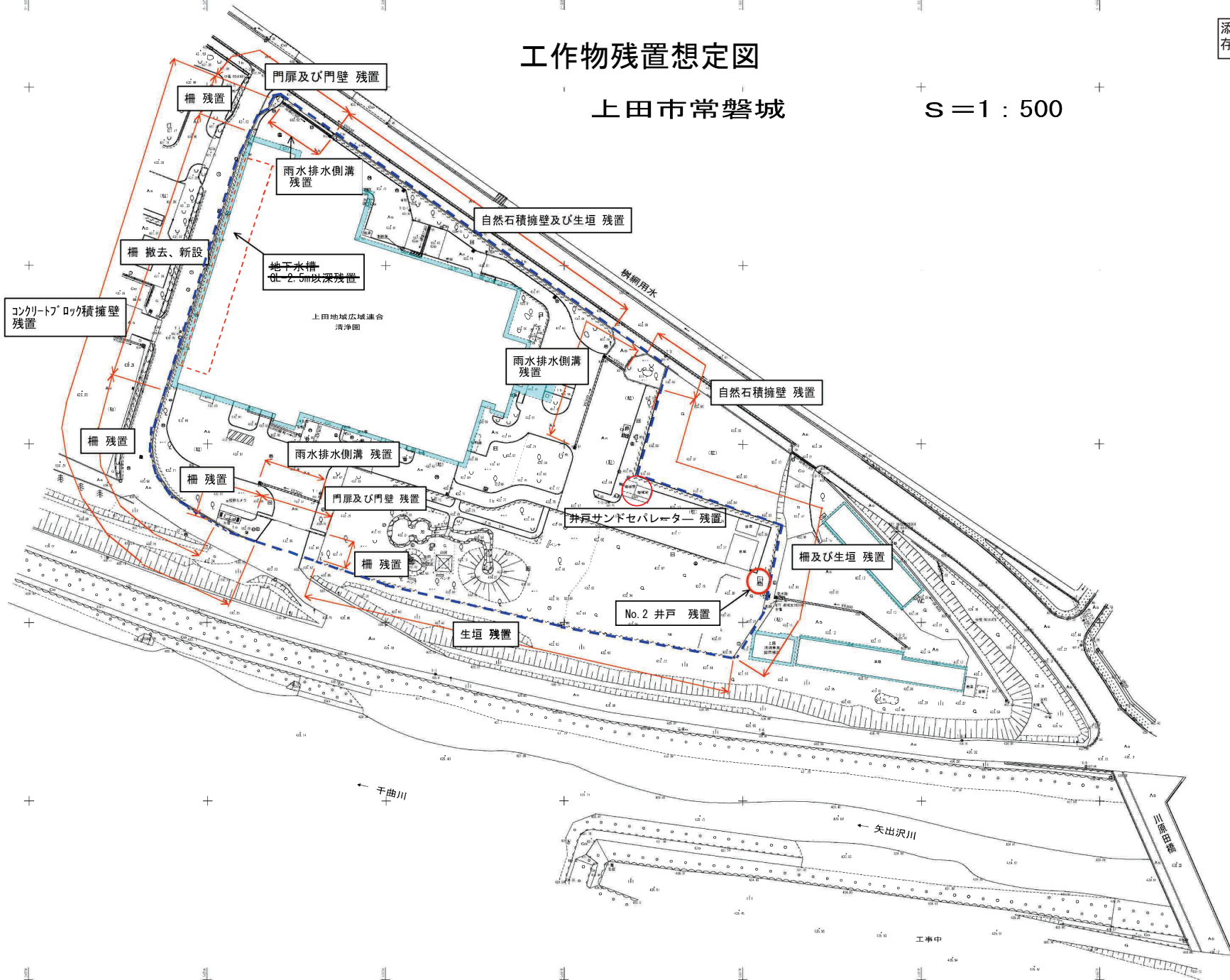
存置範囲  
(地下の機器類等については、別途工事で撤去する。)

添付資料9  
存続工作物 (参考)

# 工作物残置想定図

上田市常磐城

S = 1 : 500



- 凡例
- ⊕ 仕切弁
  - ⊙ 止水栓
  - ⊗ 不凍栓
  - ⊘ 散水栓
  - 鋼板
  - 1b インターロック
  - 石畳
  - 屋根

令和2年度 建設費型施設建設費(土木)関係費別表

巻号 1/13 平面図 縮尺 1/500

上田市常磐城及び牧物

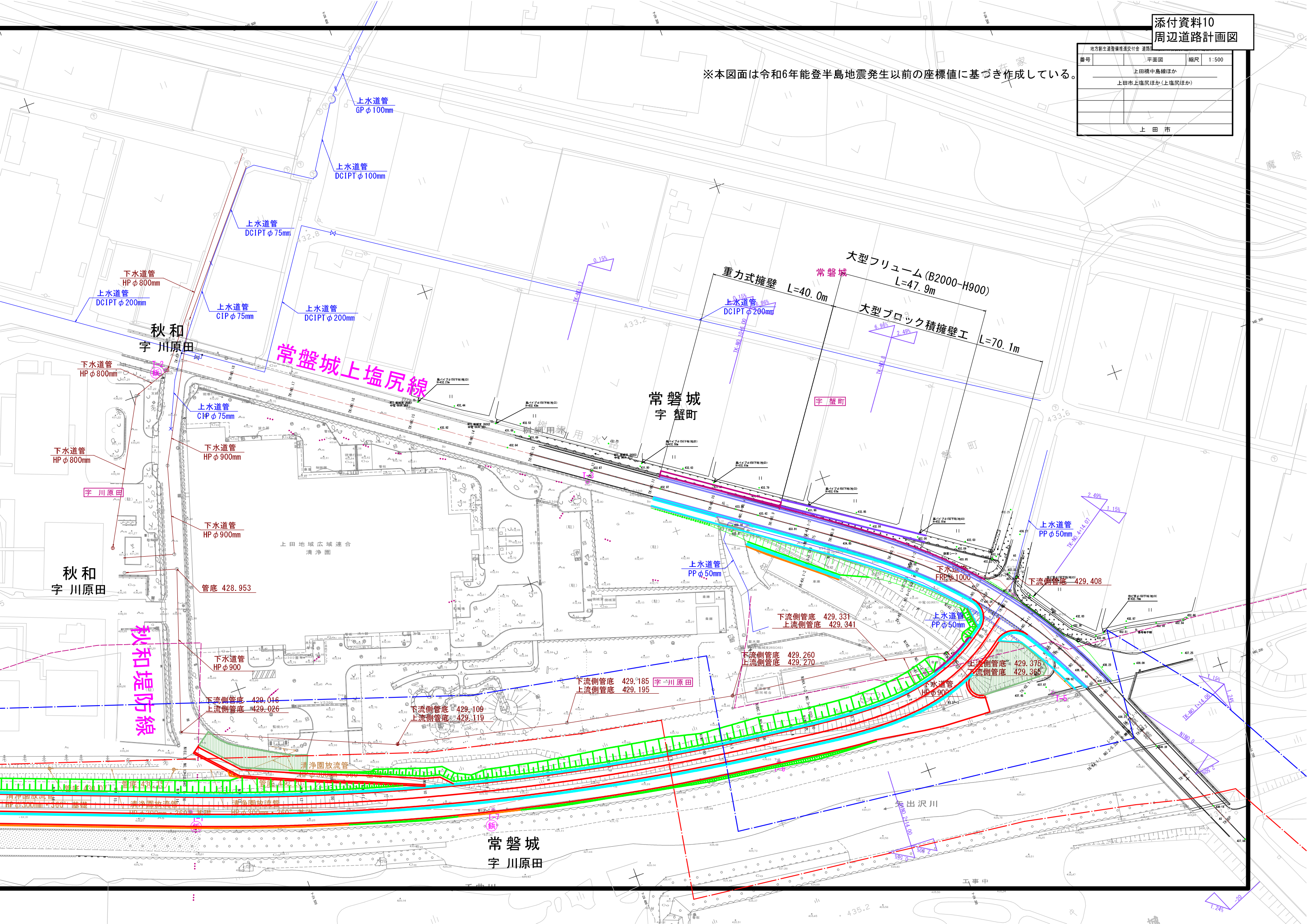
図	設計	監理
上田地域広域連合	上田地域広域連合	上田地域広域連合
調製	監理	監理
調製	監理	監理
調製	監理	監理
調製	監理	監理

工事中

添付資料10  
周辺道路計画図

地方創生推進整備推進交付金 道路		
番号	平面図	縮尺 1:500
	上田橋中島線ほか	
	上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)	
	上田市	

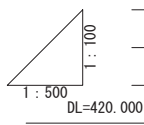
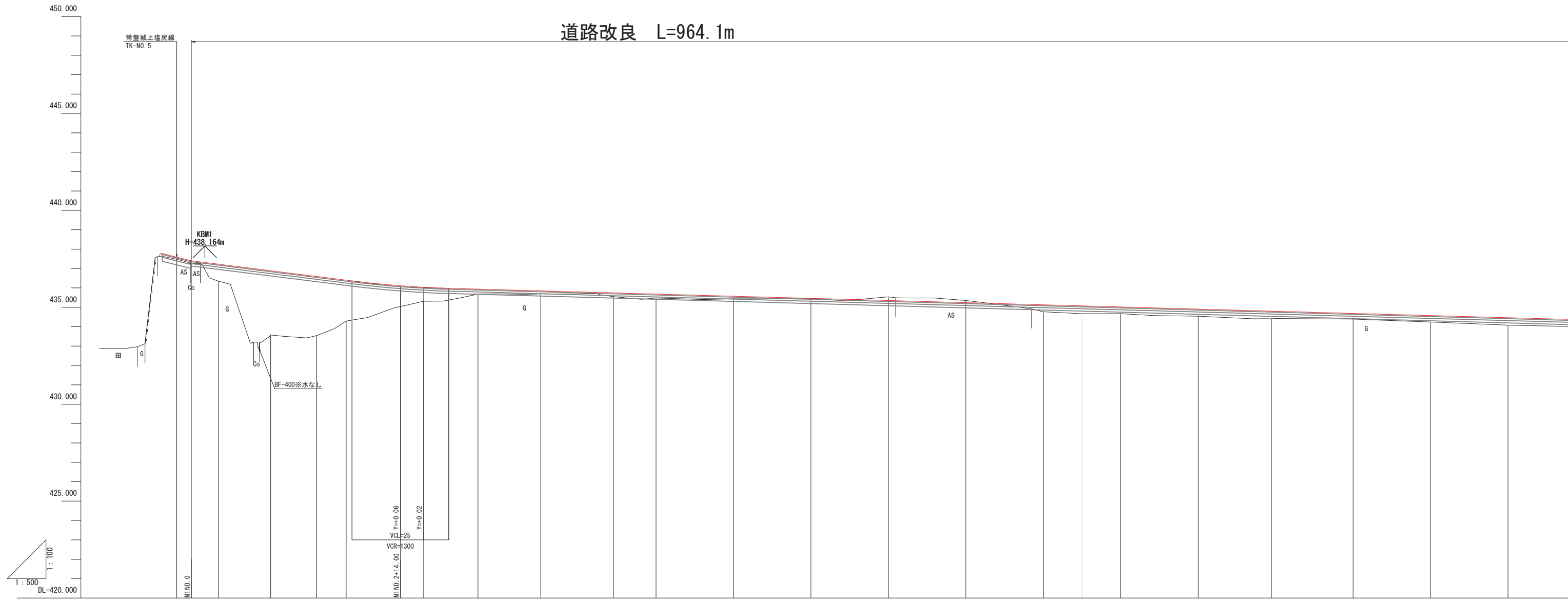
※本図面は令和6年能登半島地震発生以前の座標値に基づき作成している。



縦断図  
上田橋中島線1

H=1: 500, V=1:100 (A1版)  
H=1:1000, V=1:200 (A3版)

道路改良 L=964.1m



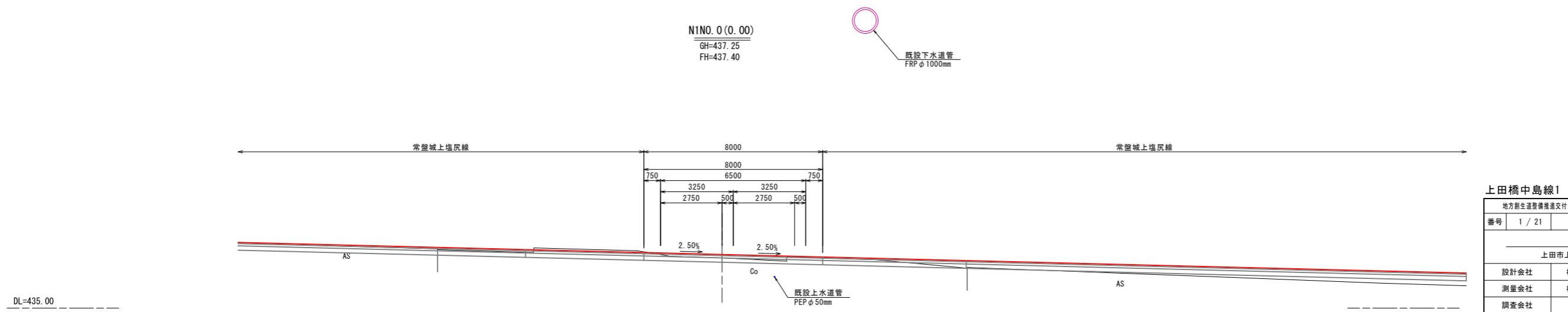
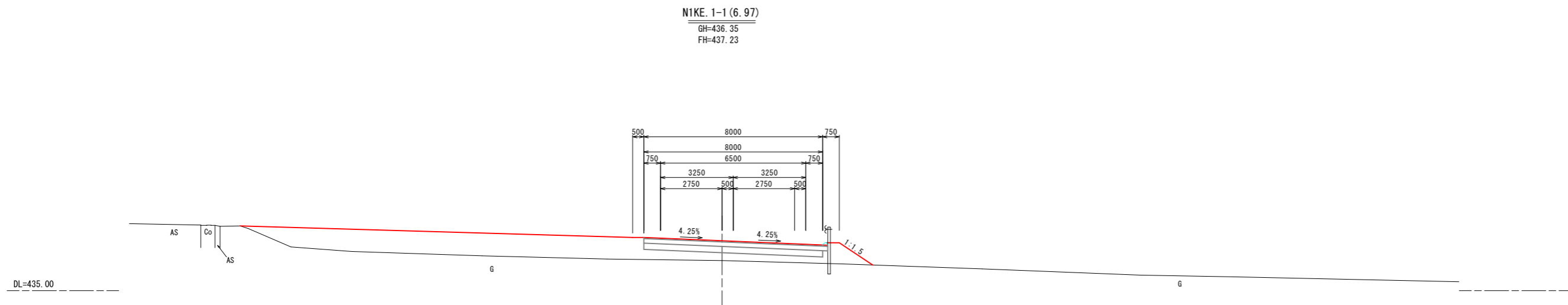
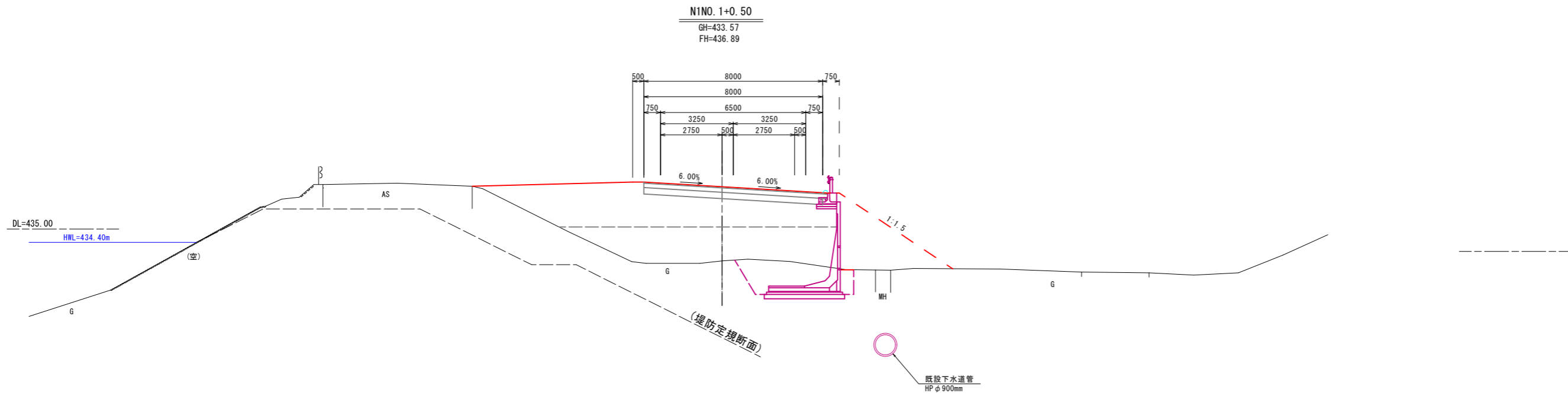
勾配	盛土高	切土高	計画高	地盤高	追加距離	単距離	測点	曲率	片勾配すりつけ図	拡すりつけ幅
	0.11		437.59	437.48	-3.75	0.00	N1NO.0			
$i=2.50\%$ $H=1.35m$ $L=54.00m$	0.15		437.40	437.25	0.00	3.75	N1NO.0			
	0.88		437.23	436.35	6.97	6.97	N1NE.1-1 (N1NO.0+6.97)			
	3.46		436.90	433.57	20.50	13.53	N1NO.1+0.50			
	3.05		436.59	433.54	32.37	11.87	N1NE.1-2 (N1NO.1+12.37)			
	2.11		436.40	434.29	40.00	7.63	N1NO.2			
	0.72		436.03	435.31	60.00	20.00	N1NO.3			
	0.26		435.94	435.68	74.03	14.03	N1NE.1-3 (N1NO.2+14.03)			
	0.16		435.85	435.69	90.24	16.21	N1NE.2 (N1NO.3+0.24)			
	0.19		435.74	435.55	109.00	18.76	N1NO.5+10.00			
	0.20		435.68	435.48	120.00	11.00	N1NO.6			
	0.13		435.57	435.44	140.00	20.00	N1NO.7			
	0.02		435.46	435.44	160.00	20.00	N1NO.8			
		0.19	435.35	435.54	180.00	20.00	N1NO.9			
		0.11	435.24	435.35	200.00	20.00	N1NO.10			
$i=0.55\%$ $H=1.92m$ $L=346.00m$	0.36		435.13	434.77	220.00	20.00	N1NE.1 (N1NO.10+0.00)			
	0.40		435.07	434.67	230.00	10.00	N1NO.11+10.00			
	0.35		435.02	434.67	240.00	10.00	N1NO.12			
	0.37		434.91	434.54	260.00	20.00	N1NO.13			
	0.39		434.80	434.41	275.94	15.94	N1NE.2 (N1NO.13+15.94)			
	0.29		434.68	434.39	300.00	21.06	N1NO.15			
	0.33		434.57	434.24	320.00	20.00	N1NO.16			
	0.38		434.46	434.08	340.00	20.00	N1NO.17			

# 横断図(1)

## 上田橋中島線1

S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)

※N10.0(0.00)付近の埋設物は、「市道 常盤城上塩尻線」に並行（当該横断図の左右方向）して設置されているため、横断図と併せて平面図を確認し、試掘により詳細な位置を確認すること。

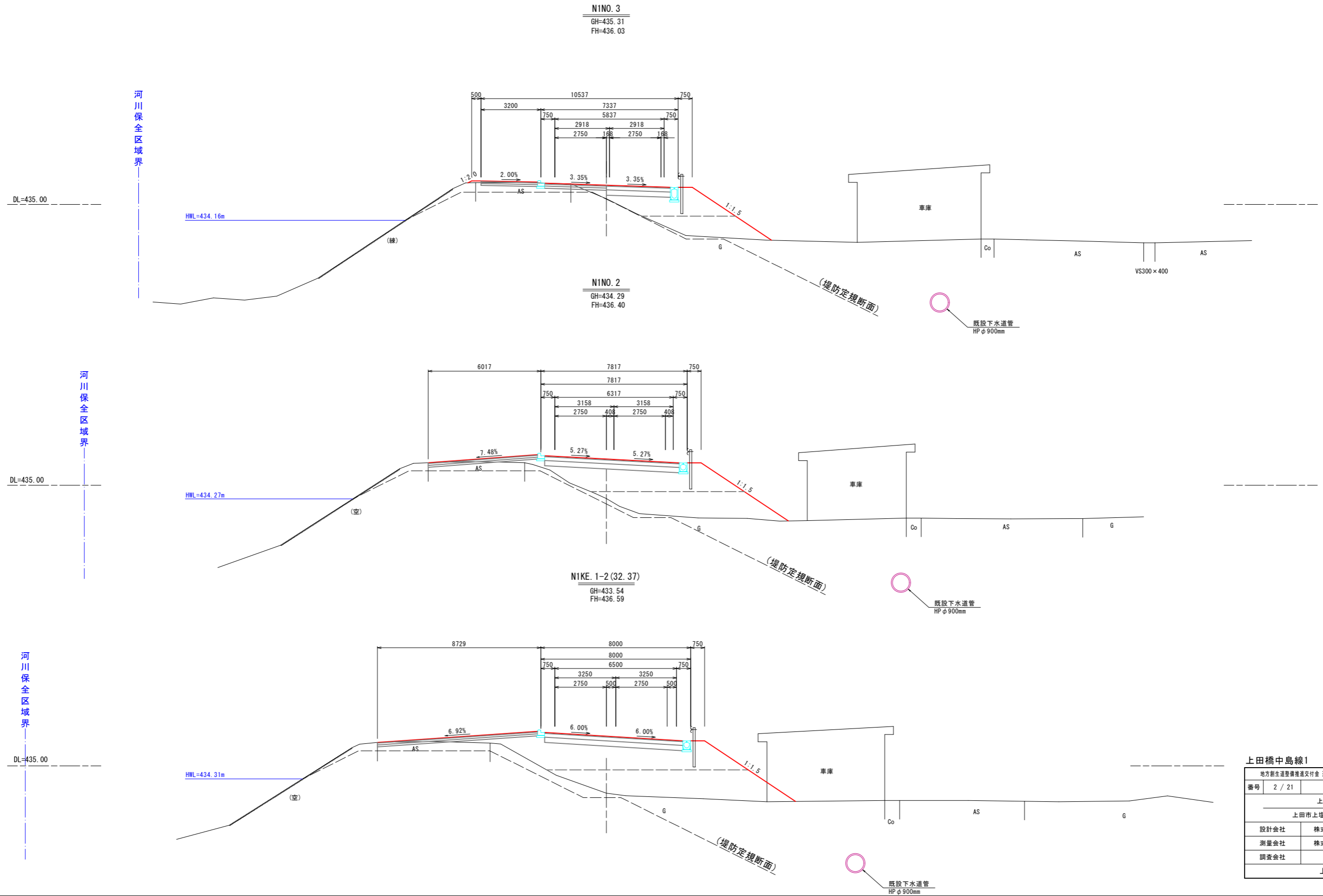


上田橋中島線1			
地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	1 / 21	横断図(1)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社			
上 田 市			

# 横断図(2)

## 上田橋中島線1

S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)



上田橋中島線1

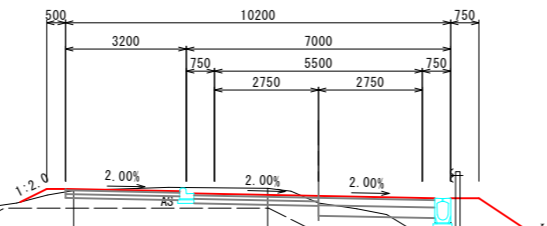
地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	2 / 21	横断図(2)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社			
上 田 市			

# 横断図(3)

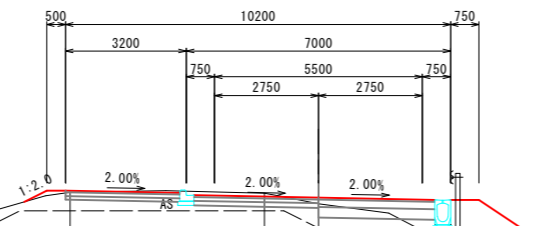
S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)

## 上田橋中島線1

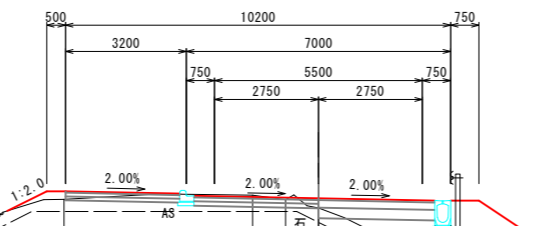
N1N0. 5+9. 00  
GH=435. 55  
FH=435. 74



N1B0. 2(90. 24)  
GH=435. 69  
FH=435. 85



N1KA. 1-2(74. 03)  
GH=435. 68  
FH=435. 94



河川保全区域界

河川保全区域界

河川保全区域界

DL=435. 00

HWL=433. 91m

DL=435. 00

HWL=434. 00m

DL=435. 00

HWL=434. 09m

既設下水道管  
HP φ 900mm

既設下水道管  
HP φ 900mm

既設下水道管  
HP φ 900mm

上田清掃事業協同組合

車庫

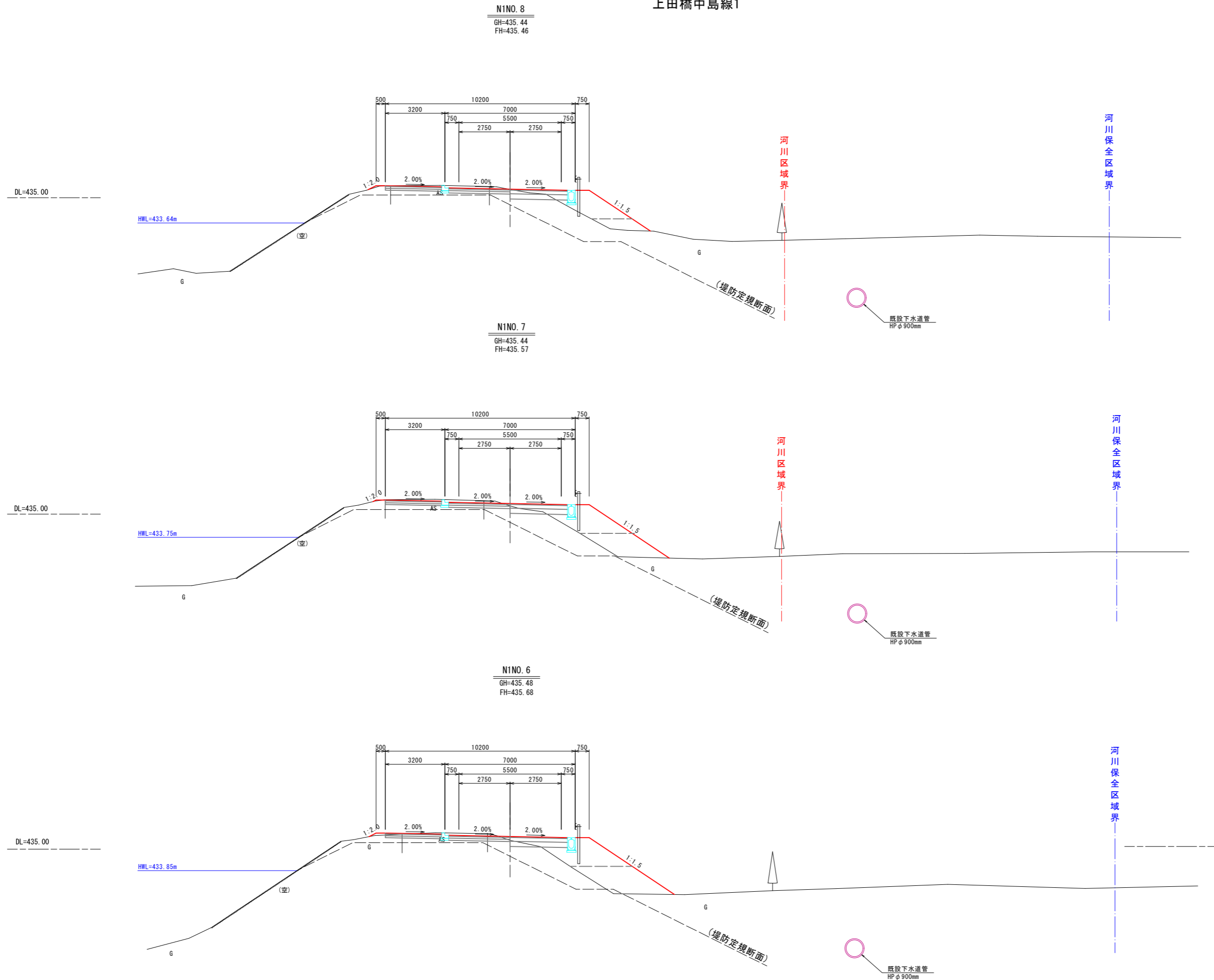
上田橋中島線1

地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	3 / 21	横断図(3)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社			
上田市			

世界測地系(測地成果2011)

# 横断図(4) 上田橋中島線1

S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)



上田橋中島線1

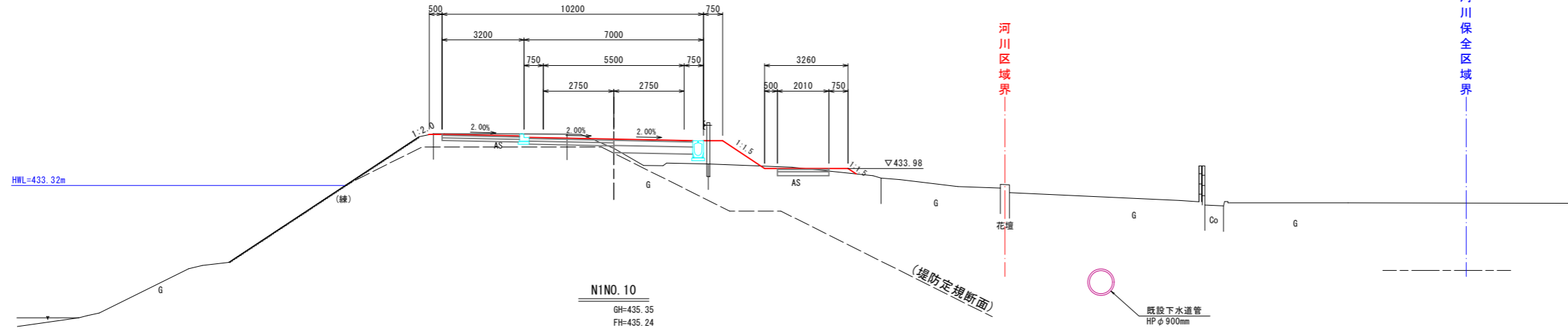
地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	4 / 21	横断図(4)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社	上田市		

# 横断図(5)

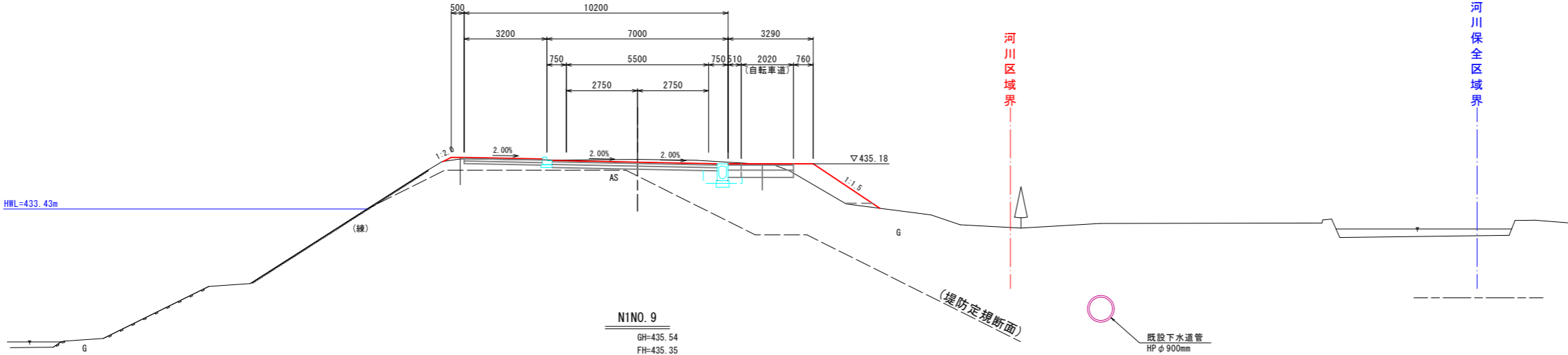
S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)

## 上田橋中島線

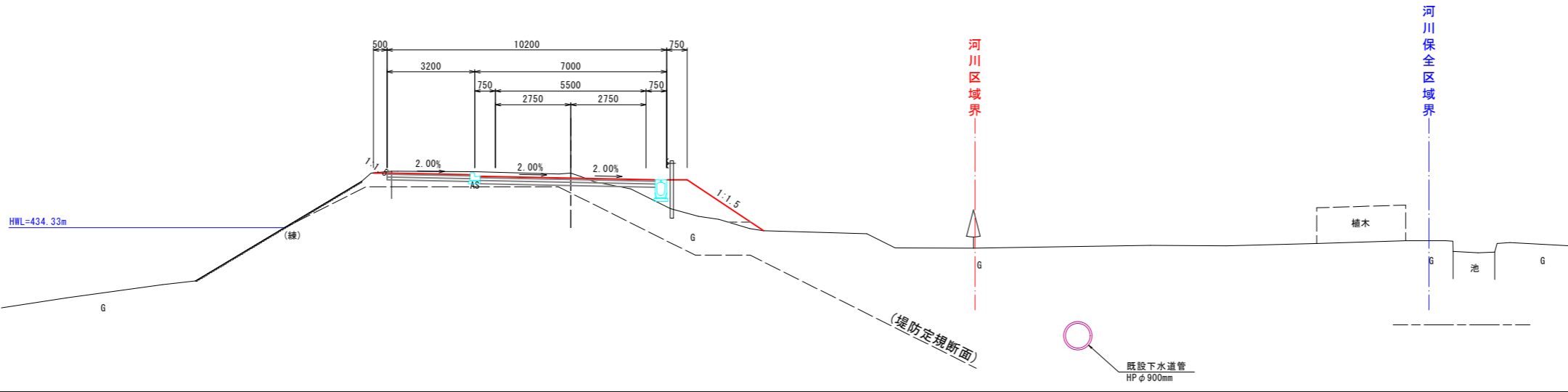
N1NO. 11  
GH=434.77  
FH=435.13



N1NO. 10  
GH=435.35  
FH=435.24



N1NO. 9  
GH=435.54  
FH=435.35

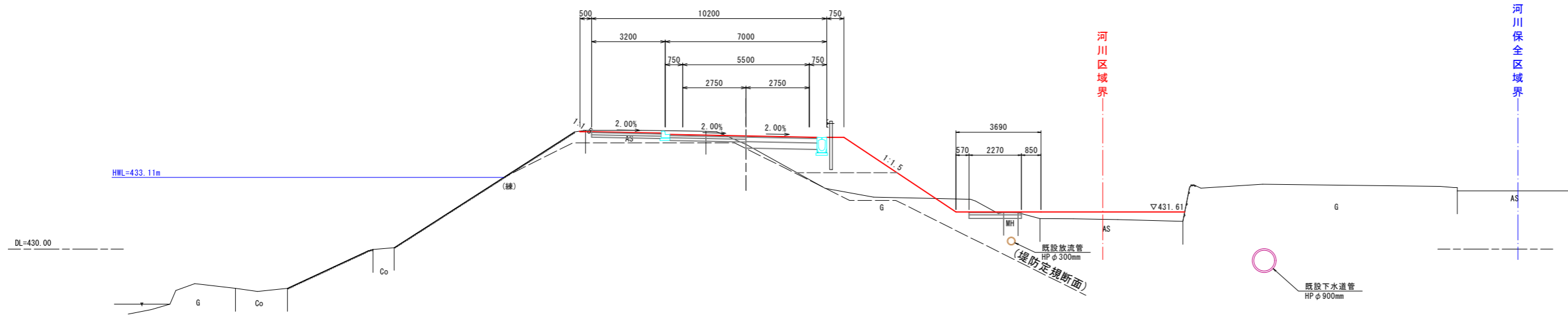


上田橋中島線1			
地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	5 / 21	横断図(5)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社			
上 田 市			

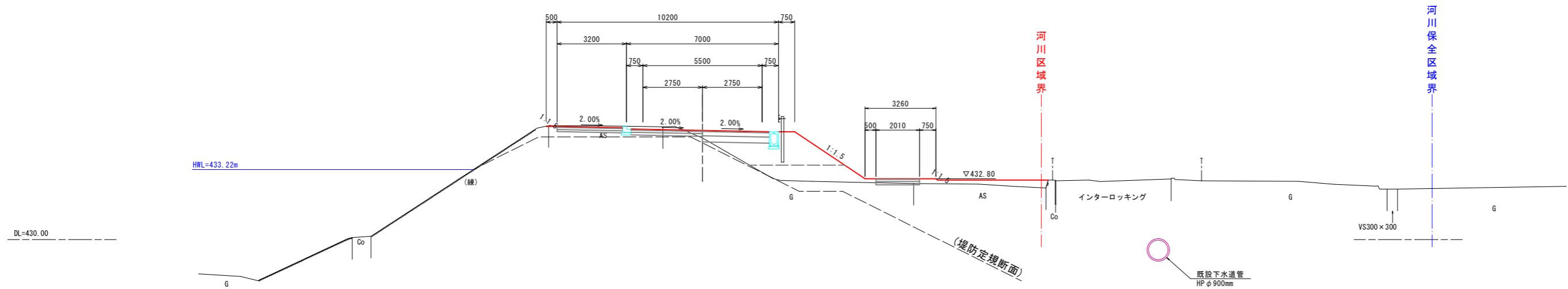
# 横断図(6) 上田橋中島線1

S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)

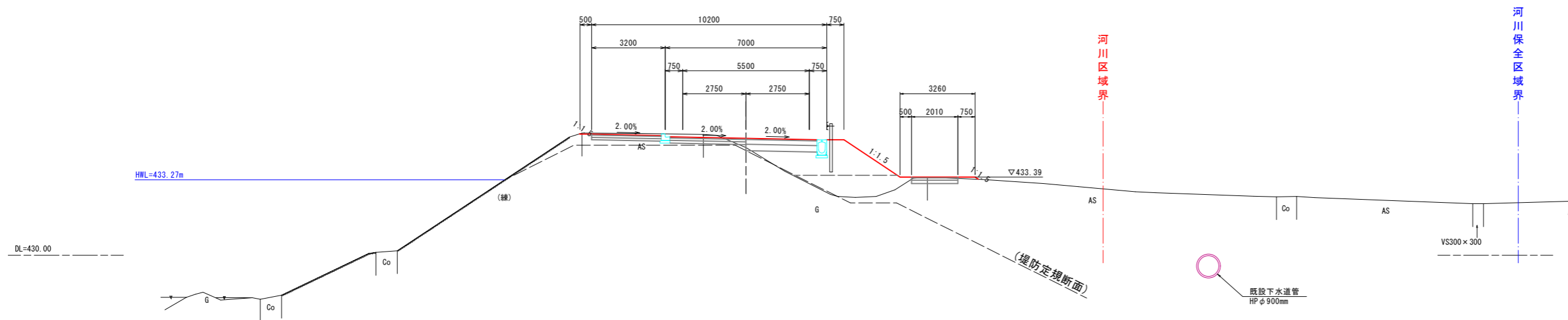
N1NO. 13  
GH=434.54  
FH=434.91



N1NO. 12  
GH=434.67  
FH=435.02



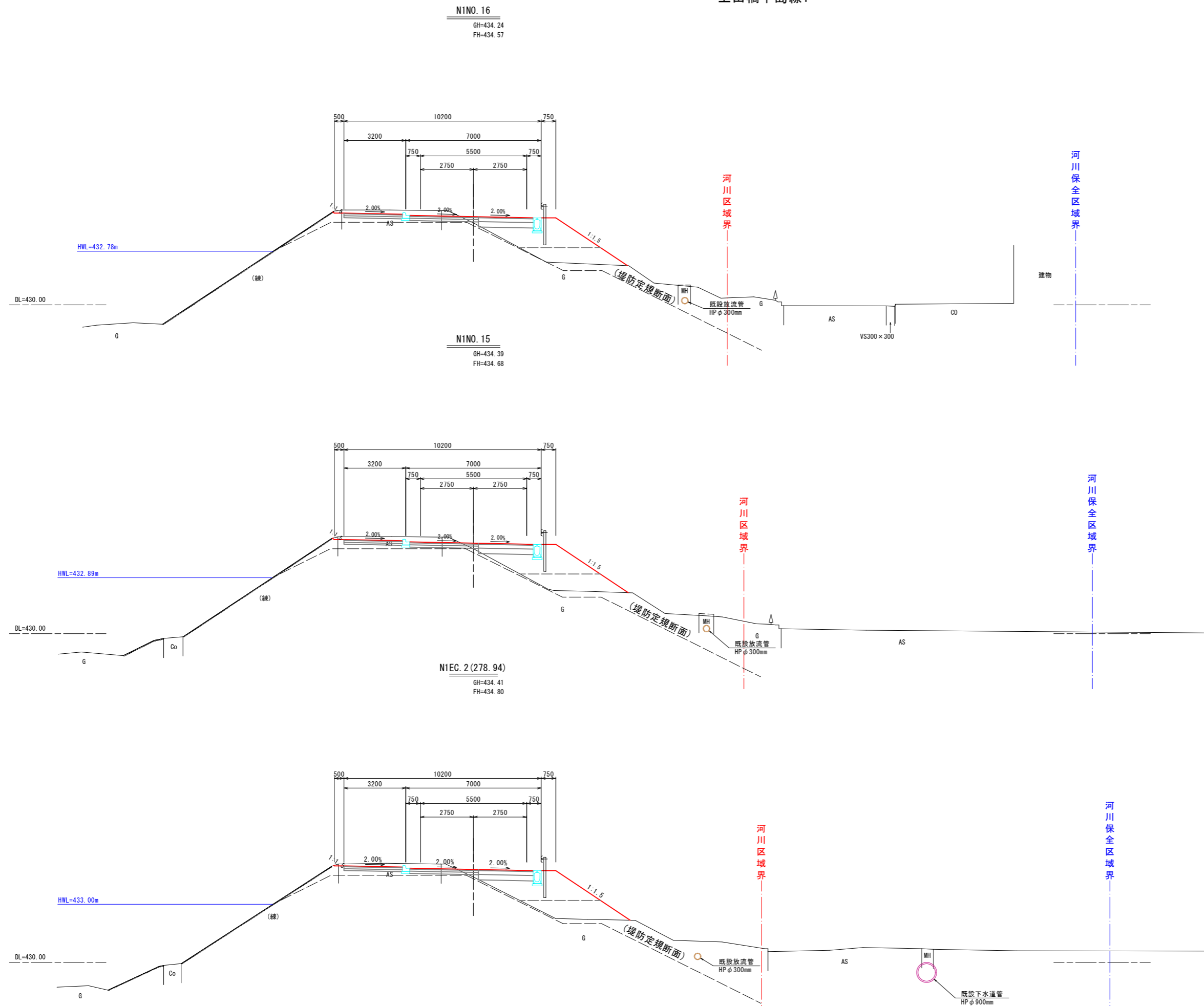
N1NO. 11+10.00  
GH=434.67  
FH=435.07



地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	6 / 21	横断図(6)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社	上田市		

横断図(7)  
上田橋中島線1

S=1:100 (A1版)  
S=1:200 (A3版)



上田橋中島線1

地方創生道整備推進交付金 道路詳細設計業務委託(上田橋中島線ほか)			
番号	7 / 21	横断図(7)	縮尺 図示
上田橋中島線1			
上田市上塩尻ほか(上塩尻ほか)			
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
測量会社	株式会社みすず総合コンサルタント		
調査会社			
上 田 市			

世界測地系(測地成果2011)